

モーターボート競走公益資金による
財団法人日本船舶振興会の補助事業

家屋評価に関する調査研究

—標準非木造住宅の再建築費等に関する調査研究—

平成元年 3 月

財団法人 資産評価システム研究センター

は し が き

財団法人 資産評価システム研究センターは、適切な地域政策の樹立に資するため、地域の資産の状況及びその評価の方法に関する調査研究の実施を目的として、昭和53年5月に発足しました。

爾来、当評価センターにおける調査研究は、資産評価の基礎理論及び地方公共団体における資産評価技法の両面にわたって、学識経験者及び自治省、地方公共団体等の関係者をもって構成する、資産評価システム、土地、家屋及び償却資産の各部門ごとの研究委員会において行われ、その結果は、会員である地方公共団体等に配付してきたところであります。

家屋研究委員会の本年度の調査研究のテーマとしては ①標準非木造住宅の再建築費等に関する調査研究 ②木造家屋に係る標準労務量に関する調査研究の2項目といたしましたが、本報告書は、上記①の調査研究に属するもので、全国主要都市における非木造の共同住宅を対象に、共同住宅の建築価額、構造、様式、型式、規模、使用資材等及び建築価格とその部分別の割合について、都市間の地域差の状況を把握する等の調査研究を行いました。この程、その調査研究の成果をとりまとめ、ここに、公表する運びとなりましたが、この機会に、熱心にご研究、ご審議をいただきました研究委員各位並びに実施調査に当って種々ご協力を賜りました地方公共団体関係者各位に心から感謝申し上げます。

なお、当評価センターは、今後とも、所期の目的にそって、事業内容の充実のためさらに努力を傾注する所存であります。地方公共団体をはじめ関係団体の皆様の一層のご指導、ご援助をお願い申し上げます。

最後に、この調査研究事業は、モーターボート競走公益資金による財団法人 日本船舶振興会の補助金の交付を受けて実施したものであり、改めて深く感謝の意を表すものであります。

平成元年3月

財団法人 資産評価システム研究センター
理事長 植 弘 親 民

三、試驗結果

2.1 試驗結果 (一) 肉質率之比較
 本試驗結果顯示，肉質率在處理組與對照組之間有顯著之差異。處理組之肉質率較對照組為高，且隨著處理時間之增加而增加。此種現象可能與處理過程中之物理及化學變化有關。

2.2 試驗結果 (二) 消化率之比較
 消化率之比較顯示，處理組之消化率較對照組為高。此種現象可能與處理過程中之物理及化學變化有關。處理組之飼料經過處理後，其物理性狀發生變化，使飼料更易於消化。

2.3 試驗結果 (三) 營養成分之比較
 營養成分之比較顯示，處理組之飼料含有較高之水分及較低之乾物質。此種現象可能與處理過程中之物理及化學變化有關。處理組之飼料經過處理後，其物理性狀發生變化，使飼料含有較高之水分。

2.4 試驗結果 (四) 飼料利用率之比較
 飼料利用率之比較顯示，處理組之飼料利用率較對照組為高。此種現象可能與處理過程中之物理及化學變化有關。處理組之飼料經過處理後，其物理性狀發生變化，使飼料更易於利用。

(一) 試驗結果 (一)

(二) 試驗結果 (二) (三) 試驗結果 (四) (五) 試驗結果 (五) (六) 試驗結果 (六) (七) 試驗結果 (七) (八) 試驗結果 (八) (九) 試驗結果 (九) (十) 試驗結果 (十)

研究組織

家屋研究委員会

委員長	松下清夫	東京大学名誉教授
委員	加藤裕久	小山工業高等専門学校教授
〃	宍道恒信	宍道建築設計事務所長
〃	西澤博	電気通信共済会建築部担当部長
〃	上杉啓	東洋大学教授
〃	吉田倬郎	工学院大学助教授
〃	黒田隆	財)建設物価調査会技術顧問
〃	斎藤順男	清水建設(株)設備部長
〃	関根繁夫	オークビルサービス(株)業務部次長
〃	橋本匡四郎	住宅金融公庫建設サービス部次長
〃	谷口恒夫	自治省税務局府県税課長
〃	小川徳治	自治省税務局固定資産税課長
〃	前田光雄	自治省税務局固定資産税課固定資産鑑定官
〃	野上敏行	財)資産評価システム研究センター調査研究部長
専門員	宮澤豊成	自治省税務局固定資産税課家屋第一(兼)第二係長
〃	渡辺豊	財)資産評価システム研究センター主任研究員
〃	井上茂	財)資産評価システム研究センター主任研究員

目 次

I	調査研究の目的等	1
1	目 的	1
2	調査方法	1
(1)	意 義	1
(2)	調査対象家屋	1
(3)	調査項目	2
(4)	調査の方法	2
3	調査結果の集計	2
(1)	とりまとめ方	2
(2)	凡 例	2
II	調査結果の概要	4
1	調査対象家屋の概要	4
2	共同住宅（RC造）に係る建築価格等の調査	6
(1)	建築価格等の状況	6
(2)	建築価格等の地域差	9
	ア 概 要	9
	イ 地 域 差	13
(3)	評点水準の状況等	17
3	部分別の施工状況等の調査	20
(1)	再建築費評点数の部分別構成比	20
(2)	再建築費評点数の地域別部分別構成比	20
4	主要資材に係る価格の状況調査	23
(1)	生コンクリート	23
(2)	鉄 筋	25
5	施工会社及び販売形態の状況調査	27
(1)	施工会社の状況	27
(2)	販売形態の状況	28

Ⅲ 計数資料等	29
1 共同住宅（RC造）に係る調査対象家屋の状況	29
2 共同住宅（RC造）に係る部分別構成比の状況	30
3 共同住宅（RC造）に係る部分別評点数の状況	31
4 主体構造部及び基礎に係る施工量等の状況	32
5 建築設備に係る部分別評点数と設備内容	33
6 主要資材価格、施工会社及び販売形態の状況	36
7 調査対象家屋の部分別仕上げ資材一覧	37
Ⅳ 参考資料	85
1 主要建築資材の卸売物価指数	85
2 RC造居住専用建物の工事費予定額等	86

I 調査研究の目的等

1 目 的

再建築価格は、家屋の価格の構成要素として基本的なものであり、その評価の方式化も比較的容易であるため、地方税（固定資産税及び不動産取得税）における家屋の評価においても再建築価格を基準とする評価方法が採用されているところである。

当センターでは専ら地方公共団体における評価実務の参考に供するため昭和60年度から非木造の共同住宅（鉄筋コンクリート造（以下、RC造と表記する。））を対象として全国主要都市における建築費の実態、建築費と再建築価格を基準とした評価額との相関関係等について調査研究を行ってきたところであり、昭和63年度においても引き続き同様の調査研究を行なうこととしたものである。

なお、この調査研究の主な目的は次のとおりである。

- ① 全国主要都市における標準的な共同住宅（RC造）の建築価額を把握すること。
- ② 標準的な共同住宅（RC造）の構造、様式、形状、規模、使用資材及びその施工の状況を把握するとともに、その地域差を明らかにすること。
- ③ 標準的な共同住宅（RC造）に係る建築価額とその部分別の割合について、全国主要都市間の地域差の状況を把握すること。

2 調査方法

(1) 意 義

この調査は原則として昭和62年中に建築された共同住宅（RC造）で、その態様が中庸である家屋を、各調査対象都市から各1棟抽出し、調査・分析することにより、地域差等を統計的に推定しようとするものである。

(2) 調査対象家屋

- ① 用途・構造 RC造共同住宅（昭和62年中に新築されたもので、パネル式工法以外のもの）
- ② 選定棟数 原則として都道府県庁所在都市ごとに1棟（総数47棟）
- ③ 程度・規模 3～5階建（地階のないものに限る。）で住戸数が30戸程度のもの。ただし、その態様が中庸なもの。

(3) 調査項目

ア 調査対象家屋に係るもの

- ① 建築価額
- ② 構造、様式、形状及び使用資材別施工量
- ③ 再建築費評点数の算出根拠（部分別内訳）
- ④ 施工会社及び販売形態

イ その他

その他建築費に関する必要事項

(4) 調査の方法

- ① 調査対象家屋の所在する都市の固定資産評価担当職員に対するアンケート調査（41棟）
- ② 上記の調査に基づき、当センター家屋研究委員会委員による実地調査（本年度対象都市 青森市、金沢市、静岡市、岡山市、徳島市、大分市）

3 調査結果の集計

(1) とりまとめ方

この研究成果は、調査対象都市の固定資産評価担当職員に対するアンケート調査に基づいて、当センターの家屋研究委員会の委員が、適宜、実地調査を行い、更に、報告された各データについて精査、調整の上、整理集計するとともに若干の分析を加えて取りまとめたものである。

(2) 凡 例

収録事項の主な用語の定義等は次のとおりである。

- 建築価額 所有者が建築業者に支払った建築費（諸経費を含む。）で家屋評価の対象部分に相当する延べ床面積 1.0 m²当たりの価額
- 再建築費評点数 延べ床面積 1.0 m²当たりの再建築費評点数
- 平均 注記していない限り算術平均とした。
- 標準偏差

$$\text{標準偏差 (s)} = \sqrt{\frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2}{n-1}}$$

- データの範囲 データの範囲(R) = 最大値(最高) - 最小値(最低)

○ 評 点 水 準

$$\text{評点水準(\%)} = \frac{\text{「再建築費評点数」}}{\text{「建築価額」}} \times 100$$

○ 北 海 道 地 域

札幌市

○ 東 北 地 域

青森市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市及び福島市

○ 北 関 東 地 域

水戸市、宇都宮市及び前橋市

○ 南 関 東 地 域

浦和市、千葉市、東京都（特別区）及び横浜市

○ 北 陸 地 域

新潟市、富山市、金沢市及び福井市

○ 中 部 地 域

甲府市、長野市及び岐阜市

○ 中 京 地 域

静岡市、名古屋市及び津市

○ 北 近 畿 地 域

大津市、京都市及び奈良市

○ 南 近 畿 地 域

大阪市、神戸市及び和歌山市

○ 山 陰 地 域

鳥取市及び松江市

○ 山 陽 地 域

岡山市、広島市及び山口市

○ 四 国 地 域

徳島市、高松市、松山市及び高知市

○ 北 九 州 地 域

福岡市、佐賀市及び長崎市

○ 南 九 州 地 域

熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市及び那覇市

Ⅱ 調査結果の概要

1 調査対象家屋の概況

昭和63年度の調査において、各都市から調査対象家屋として選定された家屋の階数、住戸数、延べ床面積等を示すと表1のとおりである。階数については3～5階建を指定したが、6階建のものが2棟、7階建のものが3棟、8階建、9階建のものが、それぞれ1棟ずつあった。また、住戸数においても、30戸程度のものを指定したが、20戸以下のものが18棟、40戸を超えるものが3棟あった。一戸当たり延べ床面積については、特に指定しなかったが、かなり小さいものが見受けられた。

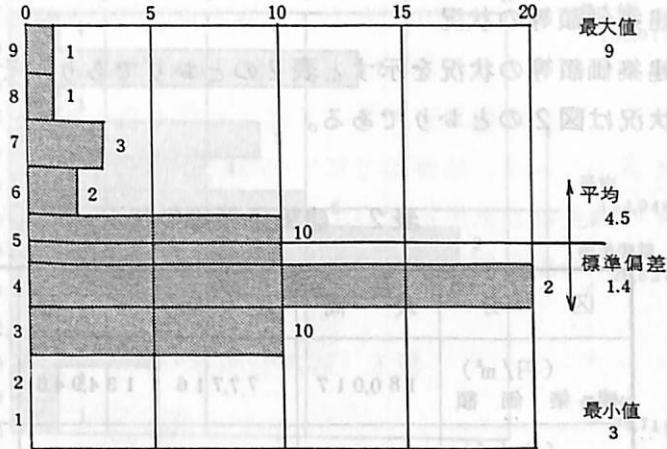
表1 調査対象家屋の状況

区 分	最 高	最 低	平 均	標準偏差
(階) 階 数	9	3	4.5	1.4
(戸) 住 戸 数	51	6	24.1	9.5
(㎡) 延べ床面積	3,881.40	499.80	1,603.91	712.09
(㎡/戸) 一戸当たり 延べ床面積	107.05	20.83	67.32	14.27

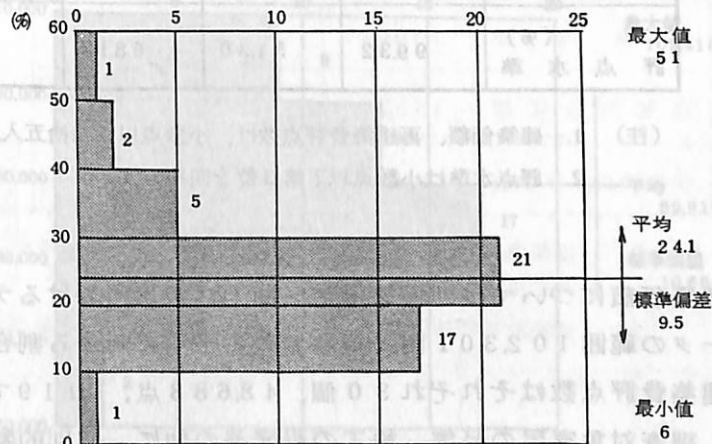
- (注) 1. 階数、住戸数は、小数第2位を四捨五入。
2. 延べ床面積、一戸当たり延べ床面積は、小数第3位を四捨五入。
3. 延べ床面積は、建物内の階段等の共有部分に係る床面積を含む。

なお、調査対象家屋における階数、戸数及び一戸当たり延べ床面積の段階別区分の状況を示したのが、図1である。

階数のヒストグラム (棟)



住戸数のヒストグラム (棟)



一戸当たり延べ床面積のヒストグラム (棟)

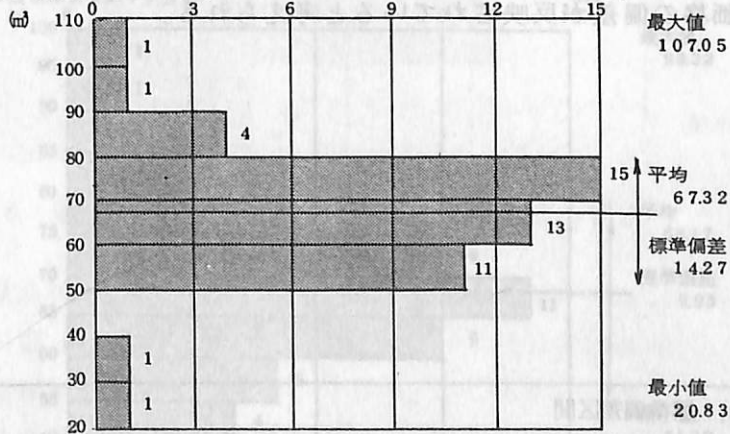


図1 階数等の段階別区分状況

2 共同住宅（RC造）に係る建築価額等の調査

(1) 建築価額等の状況

建築価額等の状況を示すと表2のとおりであり、それぞれの段階区分別の状況は図2のとおりである。

表2 建築価額等の状況

区 分	最 高	最 低	平 均	標準偏差
(円/㎡) 建 築 価 額	180,017	77,716	134,946	26,827
(点/㎡) 再建築費評点数	109,410	60,722	89,918	10,662
(%) 評 点 水 準	99.32	51.30	68.17	9.93

- (注) 1. 建築価額、再建築費評点数は、小数点以下四捨五入。
2. 評点水準は小数点以下第3位を四捨五入。

建築価額については、標準偏差区間（注1）におけるデータの数32個データの範囲102,301円、標準偏差の平均に対する割合0.199であり、再建築費評点数はそれぞれ30個、48,688点、0.119である。建築価額は、調査対象家屋の品等、施工の程度差の他に、個別的特殊事情による取引価格の偏差が反映されていると考えられる。

(注1) 標準偏差区間

平均： \bar{X} 、標準偏差S（以下同じ。）の時 $\bar{X} \pm S$ の区間を意味し、正規分布においてこの区間内に全データの68.3%のデータが存在する。

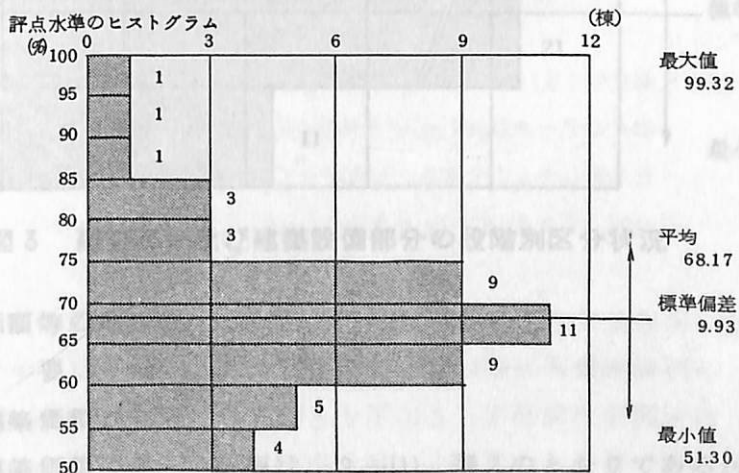
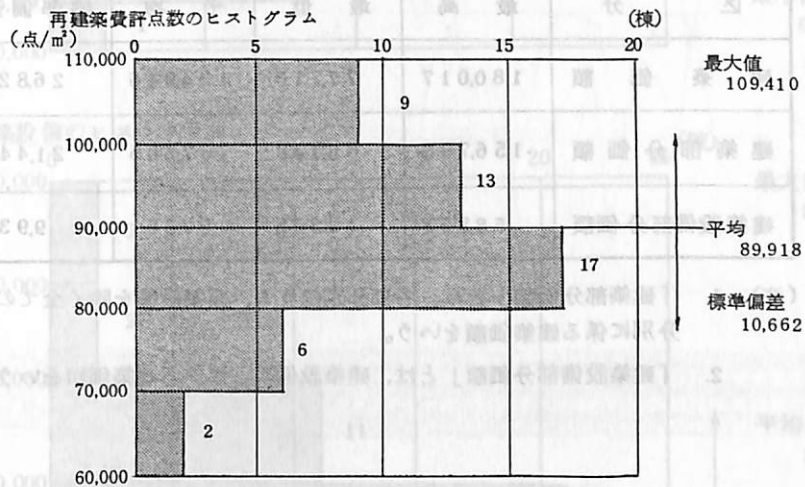
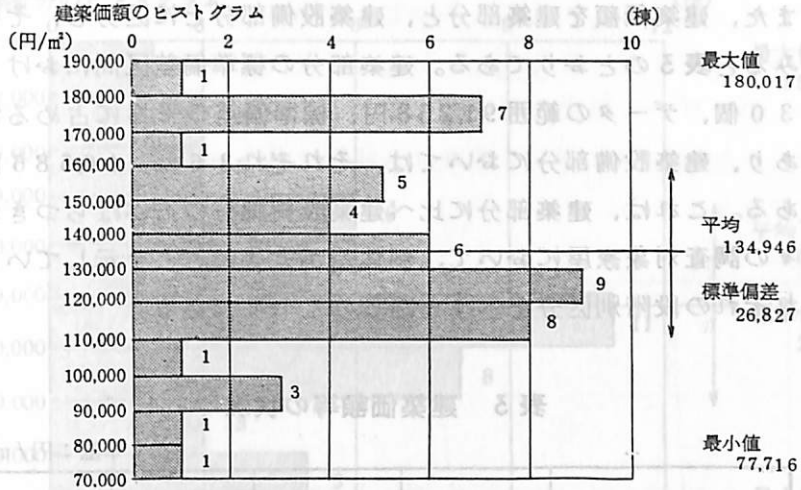


図2 建築価額等の段階別区分状況

また、建築価額を建築部分と、建築設備部分とに区分し、その状況を見てみると表3のとおりである。建築部分の標準偏差区間におけるデータの数30個、データの範囲91,258円、標準偏差の平均に占める割合0.199であり、建築設備部分においては、それぞれ36個、46,586円、0.363である。これは、建築部分に比べ建築設備部分の方がばらつきが大きく、個々の調査対象家屋において、個体差が大きいことを示している。また、それぞれの段階別区分を示すと図3のとおりである。

表3 建築価額等の状況

(単位：円/㎡)

区 分	最 高	最 低	平 均	標 準 偏 差
建 築 価 額	180,017	77,716	134,946	26,827
建 築 部 分 価 額	156,706	65,448	107,565	21,443
建 築 設 備 部 分 価 額	58,854	12,268	27,381	9,938

- (注) 1. 「建築部分価額」とは、各部分別のうち、建築設備を除く全ての部分別に係る建築価額をいう。
2. 「建築設備部分価額」とは、建築設備のみに係る建築価額をいう。

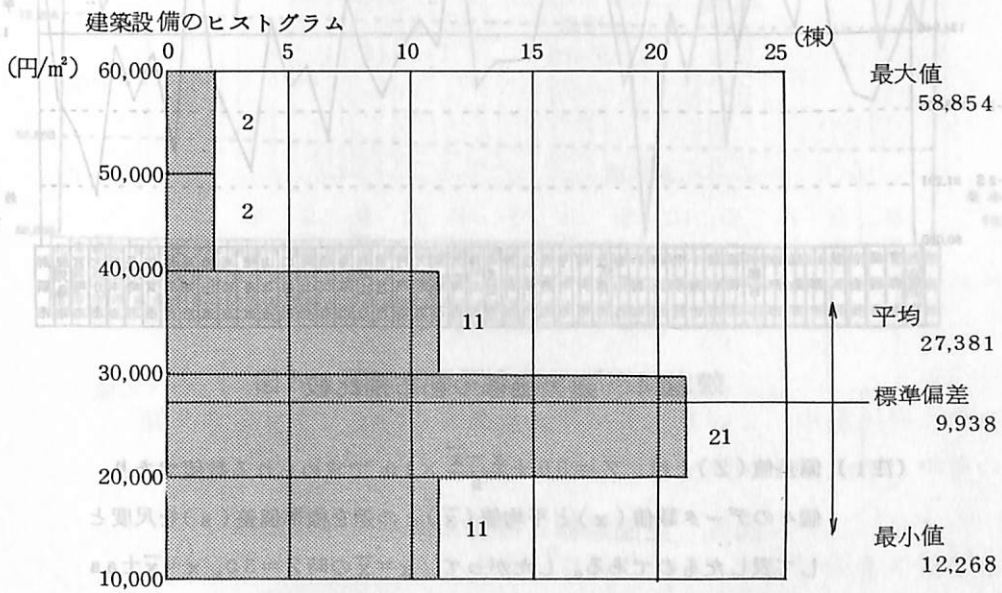
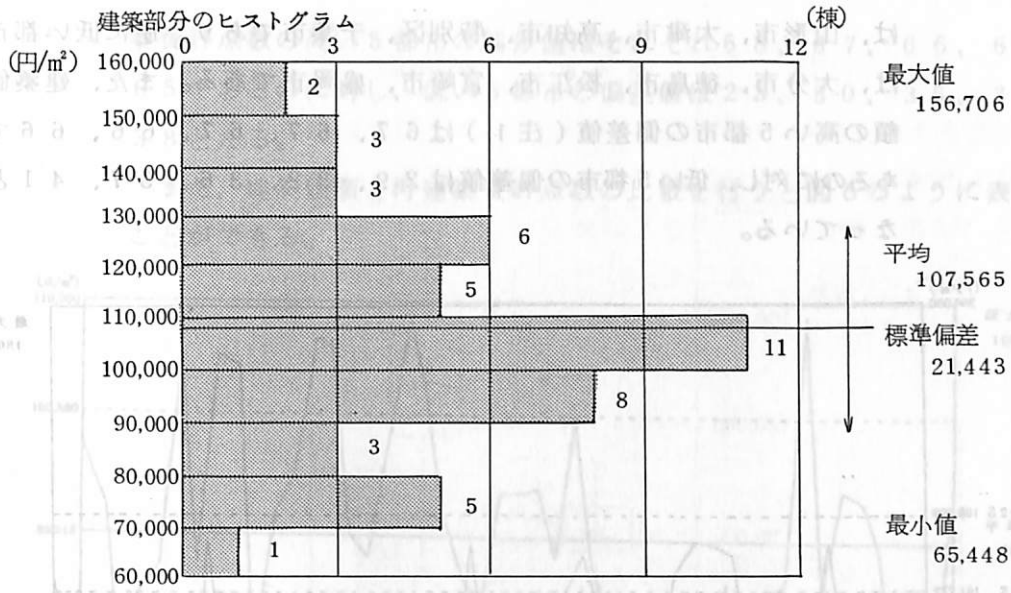


図3 建築部分及び建築設備部分の段階別区分状況

(2) 建築価額等の地域差

ア 概要

① 建築価額

建築価額のデータ概要は、2-(1)、表2のとおりであるが、これを調査対象都市ごとに示すと図4のとおりである。建築価額の高い都市

は、山形市、大津市、高知市、特別区、千葉市であり、逆に低い都市は、大分市、徳島市、松江市、宮崎市、盛岡市である。また、建築価額の高い5都市の偏差値(注1)は67、67、67、66、66であるのに対し、低い5都市の偏差値は29、32、36、37、41となっている。

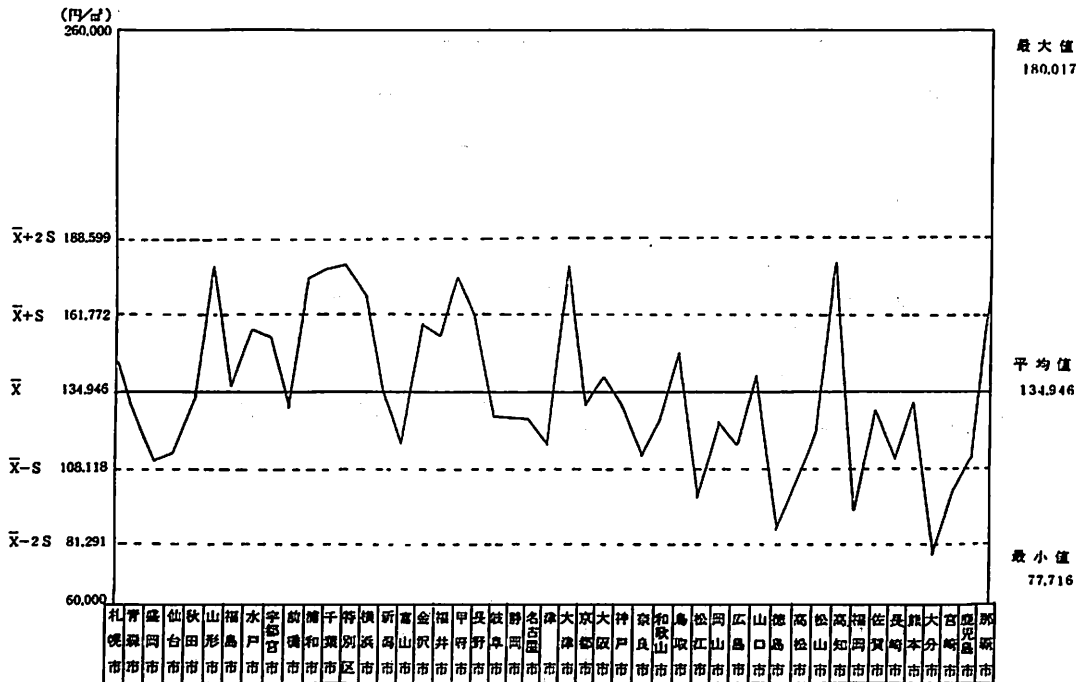


図4 建築価額の都市別比較

(注1) 偏差値(Z)とは、 $Z = 50 + \frac{x - \bar{x}}{s} \times 10$ で求められる数値であり、個々のデータ数値(x)と平均値(\bar{x})との差を標準偏差(s)を尺度として表したものである。したがって、 $x = \bar{x}$ の時 $Z = 50$ 、 $x = \bar{x} \pm sa$ の時、 $Z = 50 \pm 10a$ となる。

② 再建築費評点数

再建築費評点数のデータ概要は2-(1)、表2のとおりであるが、これを調査対象都市ごとに示すと図5のとおりとなる。再建築費評点数の高い都市は、高知市、福井市、特別区、横浜市、水戸市となり、逆に低い都市は松江市、徳島市、広島市、鳥取市、大分市となる。再建

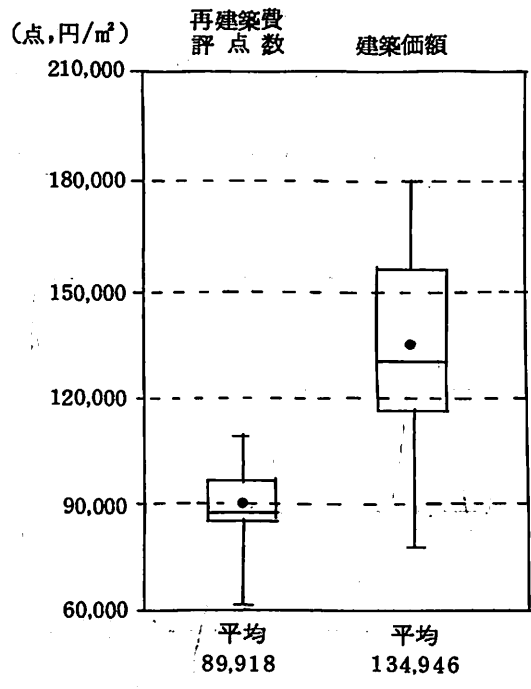


図 6 建築価額と再建築費評点数の比較

イ 地域差

① 建築価額

全国を14地域に区分し、各地域の建築価額の平均を示したものが図7である。(なお、北海道については札幌市の1データのみであるので平均値とはなっていない。以下地域区分について同様である。)

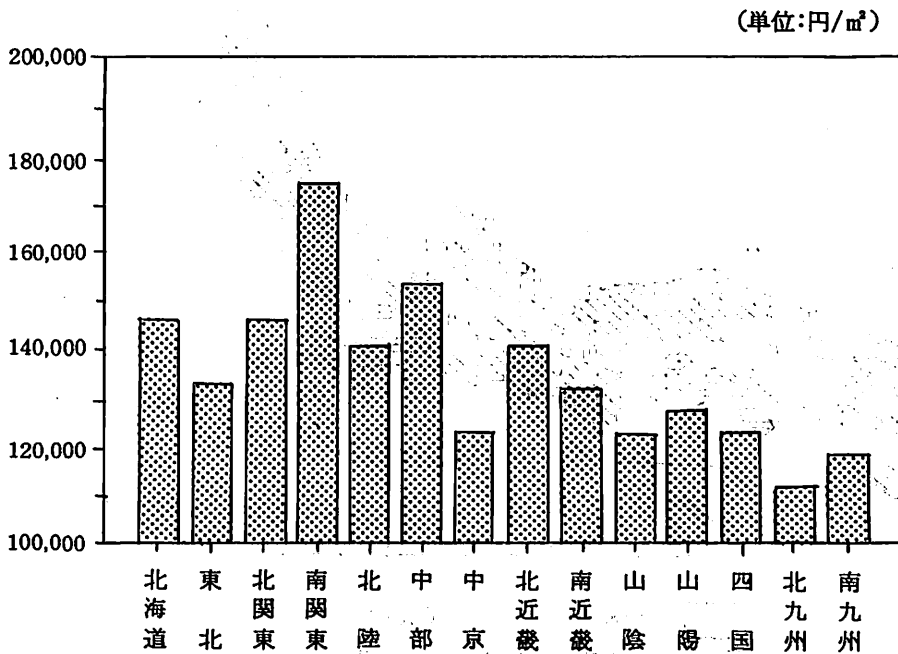


図7 建築価額の地域差

図7を見ると、南関東が際立って高く、次いで、中部が高くなっており、逆に低い方では、北九州が最も低く、次いで南九州、中京の順となっている。

南関東では、4データとも全国平均(134,946)を大きく上回っており、おおむね建築価額が高いものと言える。また中部では3データのうち、2データが全国平均を上回っている。低い方では、北九州、中京は、3データとも全国平均を下回っており、また、南九州は5データのうち4データが全国平均を下回っており、建築価額が低いと言える。

また、図4に示された各調査都市のデータを各都道府県別に表したものが図8である。

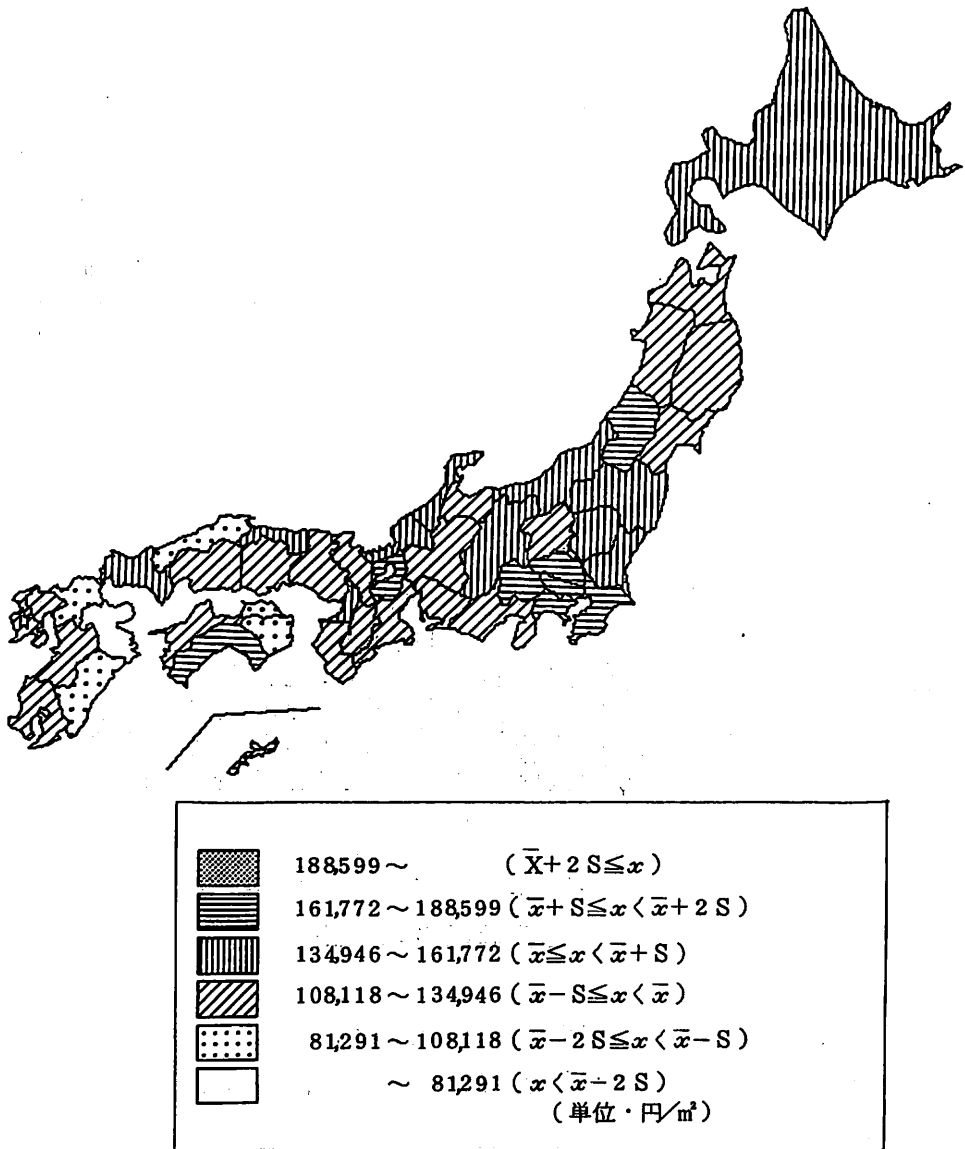


図8 建築価額の都道府県別状況

図8を見ると、関東近辺の建築価額が高いことがわかる。

② 再建築費評点数

建築価額と同様に、全国を14地域に区分し、各地域の再建築費評点数の平均を示したものが図9である。

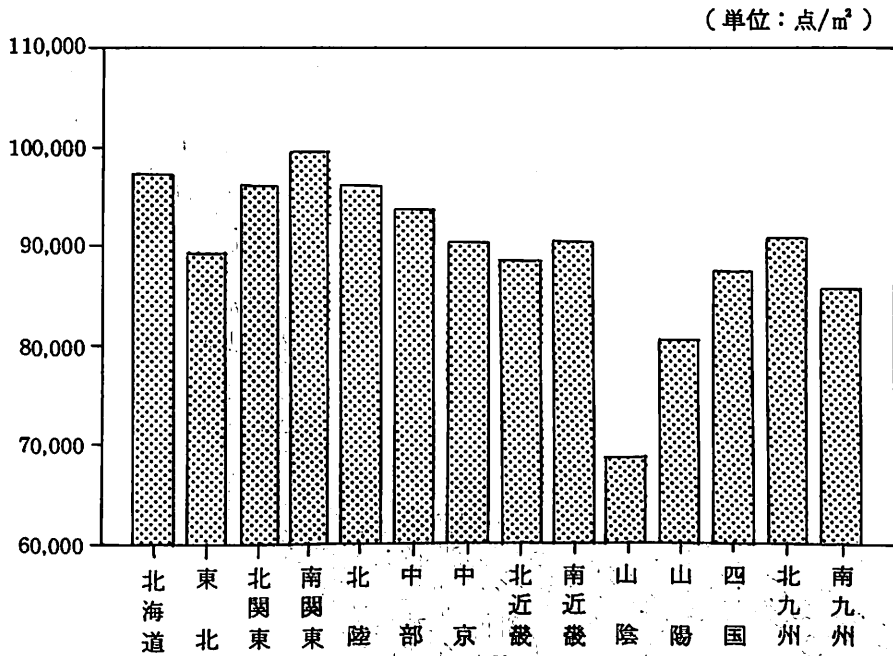


図9 再建築費評点数の地域差

図9を見ると、南関東、北海道、北陸、北関東の順で高く、山陰、山陽、南九州、四国の順に低くなっている。しかし、山陰を除くと他の地域の平均値はすべて標準偏差区間に入っており、再建築費評点数においては、比較的地域差はないと言える。これは調査対象家屋の一戸当たり床面積、階数、住戸数、延べ床面積等のバラッキ、及び各戸の間取り等を特に指定しなかったことを考えると、今回の調査対象家屋の品等、施工の程度の地域差は少なかったと考えられる。

また、図5に示された各調査都市のデータを各都道府県別に表したものが図10である。

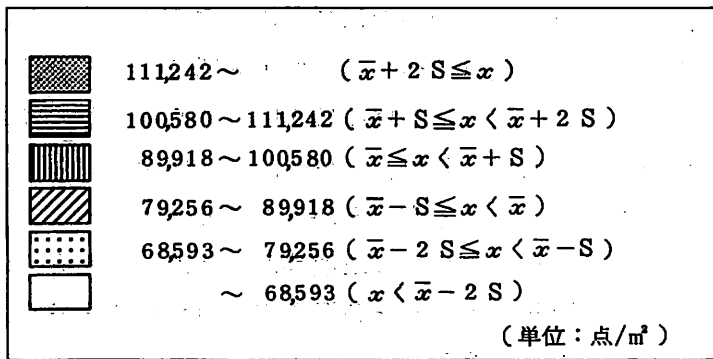
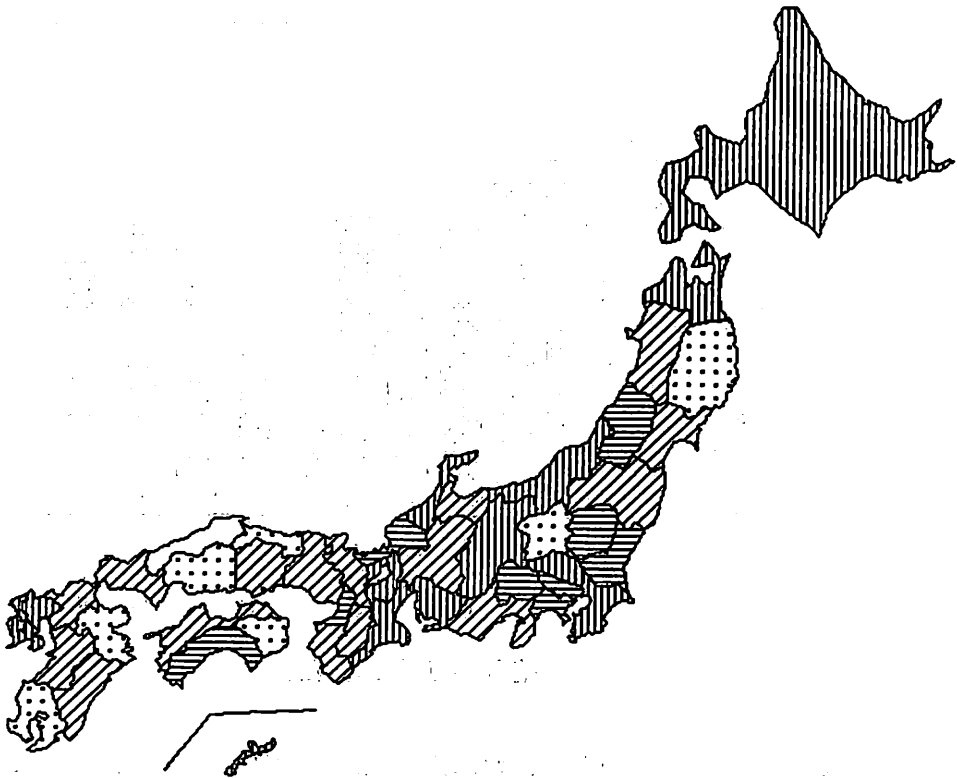


図 10 再建築費評点数の都道府県別状況

(3) 評点水準の状況等

評点水準について、各調査対象都市ごとに示すと図11のとおりである。
また、各調査都市のデータを各都道府県別に表したものが図12である。

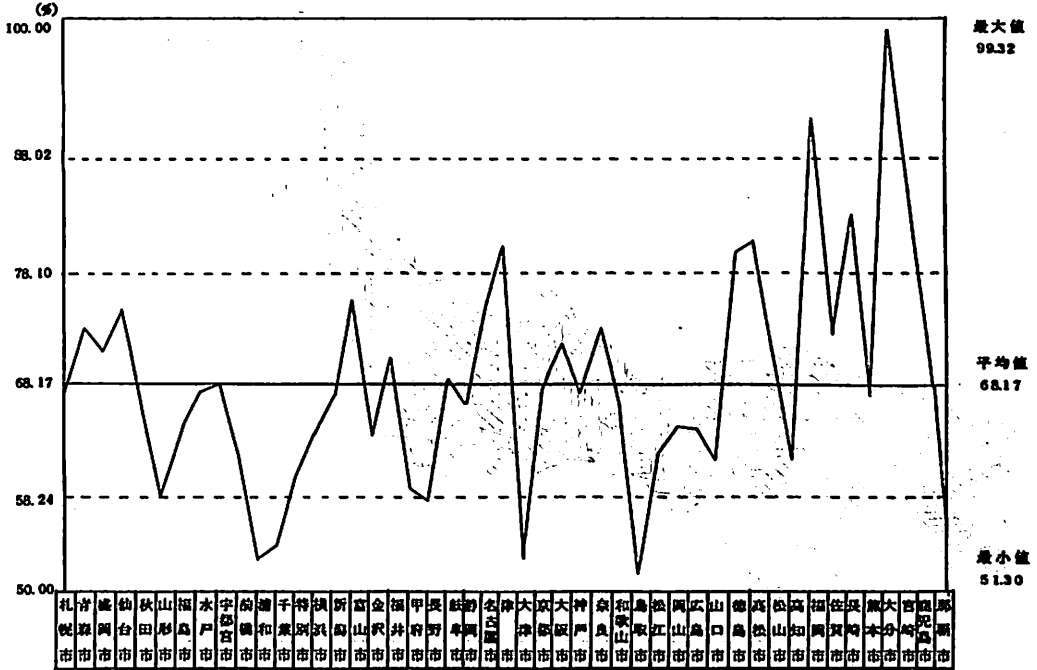


図 11 評点水準の都市別比較

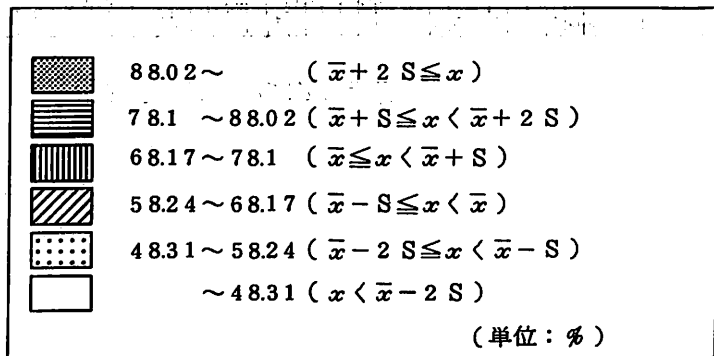
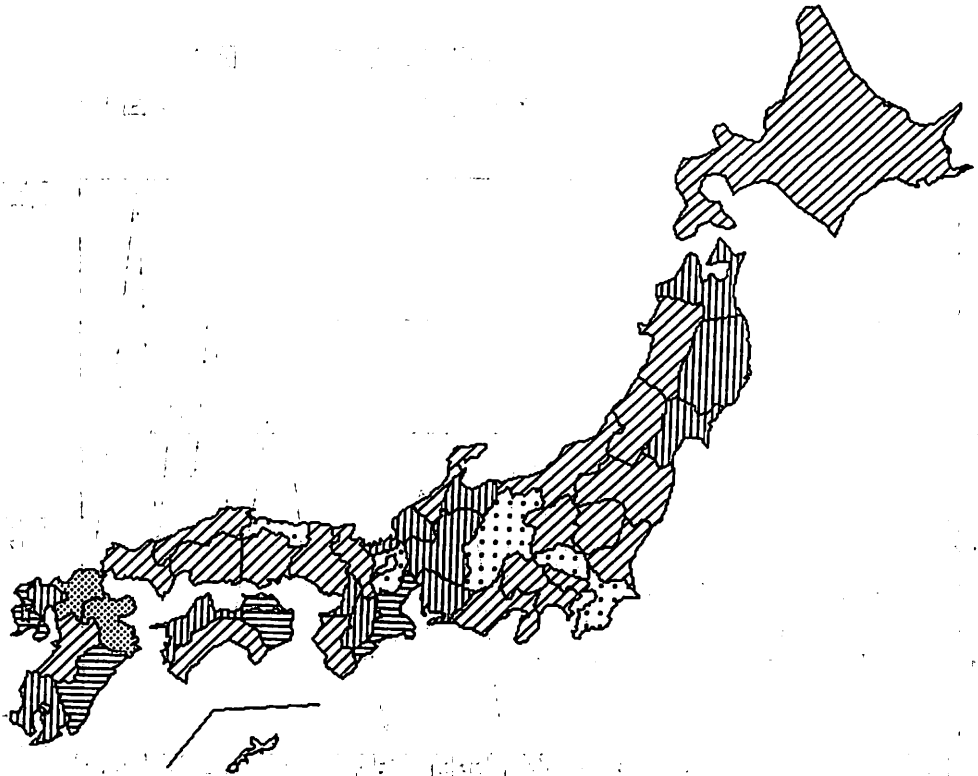


図 12 評点水準の都道府県別状況

評点水準の平均、最高、最低、標準偏差は2-(1)、表2のとおりである。ここでは最高値は99.32%であり、建築価額と再建築費評点数が極めて近い値となっているが、これが地域の特性によるものか否かは、家屋の個別的事情もあるため、当該1データからは一概に判断できない。他にデータの範囲48.02%、標準偏差の平均に対する割合0.146、標準偏差区間におけるデータの数は35個であり、全データの74.47%を占めている。これは評点水準においても、建築価額や再建築費評点数と同様にかんがりの偏差があることを示している。しかし評点水準は凡例で定義したとおり、建築価額と再建築費評点数の関係で定まるものであり、具体的には両者の比較関連を行うことにより分析することとなる。このため、両者の散布図を表すと図13のとおりとなり、相関係数は0.749、回帰式(図中の直線の式)は $Y = aX + b$ 、 $a = 0.297673$ 、 $b = 49,748.6$ となっている。

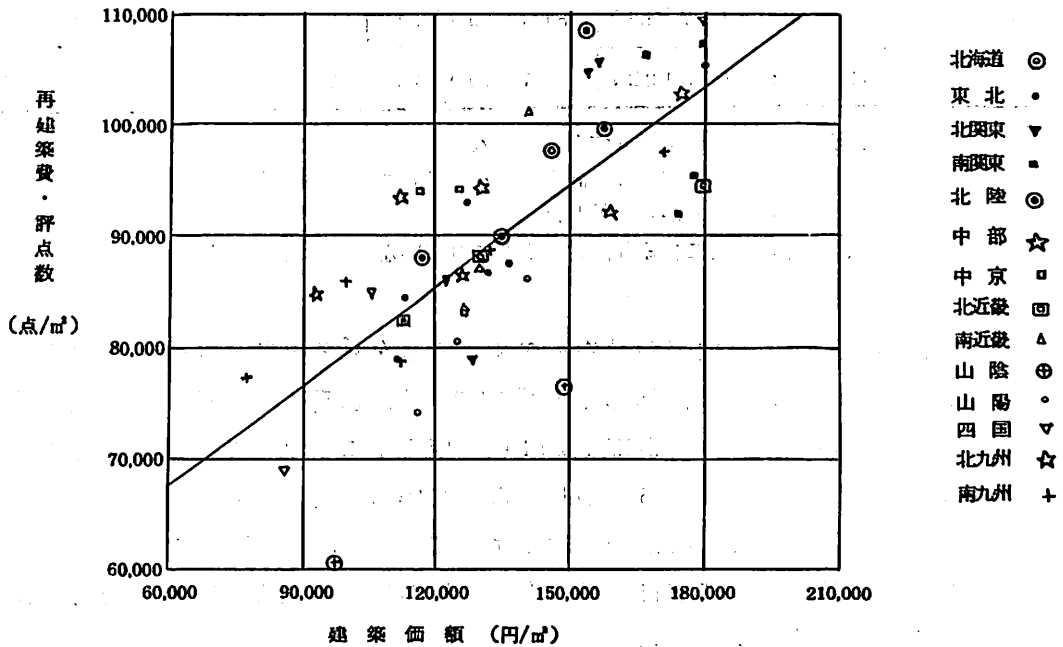


図13 再建築費評点数と建築価額

この相関係数0.749は過去4年間の調査の中でも最も高い数値となっており、今回の調査からは建築価額と再建築費評点数の間にかんがり強い相関関係があるものと認められる。

3 部分別の施工状況等の調査

(1) 再建築費評点数の部分別構成比

昭和63年度の調査対象家屋について、固定資産評価基準に定める各部分別の再建築費評点数の構成状況を見ると表4のとおりである。

表4 再建築費評点数の部分別構成比

(単位：%)

区 分	主体構造部	基礎	間仕切骨組	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具	仮設工事	その他の工事	建築設備
最 高	50.73	11.12	5.67	9.32	15.24	7.11	6.12	4.03	21.90	5.65	3.57	25.70
最 低	28.16	1.13	0.54	0.53	4.37	2.99	1.34	0.22	5.05	2.41	1.46	12.26
平 均 (構成比)	35.59	4.58	1.82	4.30	8.63	4.95	3.48	1.32	10.88	3.83	2.28	18.39
標準偏差	4.63	2.20	0.98	2.27	1.77	0.99	0.94	0.70	2.71	0.65	0.43	3.14

- (注) 1. 各数値は、小数点以下第3位を四捨五入。
 2. 外周壁骨組、特殊設備に係る評点付設がなされている調査対象家屋があったが、サンプル数が少ないことから除外した。
 また、間仕切骨組に係る評点付設がなされていない調査対象家屋が3棟あった。

各部分別の標準偏差の平均に対する割合を見ると間仕切骨組53.85%、屋根仕上げ53.03%、外部仕上げ52.79%、基礎48.04%の順に大きく、逆に小さいのは主体構造部13.01%、仮設工事16.97%、建築設備17.07%、その他の工事18.86%の順となっている。各部分別で数字の大きいものの原因としては、外部仕上げのように使用資材の品質の相違によるものと、基礎のように杭打地業の有無や杭の使用本数の違い等の資材の使用量に起因するものがある。

(2) 再建築費評点数の地域別部分別構成比

次に、地域別の構成比を示すと表5のとおりである。

表5 再建築費評点数の地域別部分別構成比

(単位：%)

区分	主体構造部	基礎	間仕切骨組	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具	仮設工事	その他の工事	建築設備
北海道	28.74	4.53	0.96	7.32	8.19	5.75	3.55	0.95	13.45	3.39	1.84	21.33
東北	34.43	4.57	1.30	4.03	8.07	4.84	3.99	1.89	13.00	3.73	2.29	18.05
北関東	35.94	3.73	2.34	4.78	8.19	4.49	2.57	1.17	10.90	4.44	2.36	19.06
南関東	31.97	6.35	1.92	6.03	8.22	3.94	2.73	1.04	11.54	3.49	2.07	20.65
北陸	34.43	5.66	1.53	3.89	9.48	4.92	3.60	1.16	9.96	3.45	2.41	19.15
中部	41.04	3.03	2.15	2.71	8.65	4.55	3.77	0.96	9.79	3.07	1.91	18.19
中京	34.41	3.85	1.47	6.69	10.65	4.45	3.62	1.08	10.22	3.95	2.14	17.92
北近畿	38.73	2.17	1.91	3.60	9.89	4.48	3.25	1.49	9.14	3.89	2.18	19.24
南近畿	34.69	3.55	2.32	4.11	9.22	4.89	3.30	1.33	10.70	3.90	2.59	19.20
山陰	37.58	3.59	0.62	4.63	8.85	6.57	3.15	1.37	9.73	4.89	2.65	16.57
山陽	34.78	5.04	2.42	4.44	9.02	4.97	3.67	1.75	10.55	4.27	2.32	16.72
四国	37.00	6.37	1.43	4.25	8.06	5.27	4.00	1.91	10.43	3.81	2.59	14.77
北九州	34.13	5.90	1.36	1.88	7.45	5.00	2.85	1.08	12.31	3.65	1.98	22.36
南九州	37.49	4.08	2.40	4.00	7.78	5.92	3.81	0.82	10.31	4.00	2.31	17.03

- (注) 1. 各数値は、各データの構成比を地域ごとに平均したものである。
 2. 表6と同様に、外周壁骨組と特殊設備を除いている。
 3. 各数値は、小数点以下第3位を四捨五入。

表5から、偏差の大きい地域(表4による標準偏差区間外の地域)を各部分別に見ていくと次のとおりである。

① 主体構造部

中部が標準偏差区間より上にあり、北海道が標準偏差区間より下にある。

② 基礎

北近畿が標準偏差区間より下にある。

③ 間仕切・骨組

山陰が標準偏差区間より下にある。

- ④ 外部仕上げ
北海道、中京が標準偏差区間より上にあり、北九州が標準偏差区間より下にある。
- ⑤ 内部仕上げ
中京が標準偏差区間より上にある。
- ⑥ 床仕上げ
山陰が標準偏差区間より上にあり、南関東が標準偏差区間より下にある。
- ⑦ 天井仕上げ
全地域が標準偏差区間内にある。
- ⑧ 屋根仕上げ
全地域が標準偏差区間内にある。
- ⑨ 建 具
全地域が標準偏差区間内にある。
- ⑩ 仮設工事
山陰が標準偏差区間より上にあり、中部が標準偏差区間より下にある。
- ⑪ その他の工事
北海道が標準偏差区間より下にある。
- ⑫ 建築設備
北九州が標準偏差区間より上にあり、四国が標準偏差区間より下にある。

建築設備を電気設備、衛生設備、空調設備、防災設備、運搬設備の五種類に区分し、再建築費評点数に占める割合を示すと表6のとおりである。

表6 建築設備の再建築費評点数に占める割合の状況

(%)

データ数 (個)	建築設備	電気設備	衛生設備	空調設備	防災設備	運搬設備
	47	47	47	45	27	10
平均	1839	4.81	11.84	0.60	0.94	2.94
最高	2570	7.12	17.26	2.72	1.80	4.39
最低	12.26	3.04	7.38	0.14	0.15	1.46
標準偏差	3.14	0.95	2.44	0.56	0.49	0.99

表6を見ると、電気設備、衛生設備はすべての調査対象家屋に施工されており、空調設備（換気設備）もほとんど施工されている。これは、住宅において通常施工される設備がこの三種類の設備の内訳に含まれているからである。これに対して、防災設備、運搬設備は一棟の建物に備えられているか否かという性格の設備であり、その有無が分れている。これらの設備は法令によって一定規模以上になると設置が義務付けられているものもある。

4 主要資材に係る価格の状況調査

今回の調査においては、調査対象都市における生コンクリート（呼び強度 180 kg/cm³・スランプ18 cm 及び 21 cm、呼び強度 210 kg/cm³・スランプ 18 cm 及び 21 cm）の 1 m³ 当たり価格を昭和 61 年度、昭和 62 年度に引き続き調査した。また、鉄筋については、昭和 62 年度と同じ鉄筋コンクリート用異形棒鋼（JIS 規格 SD 30）の径 10 mm、13 mm 及び 19～25 mm のものの 1 t 当たり価格について調査した。

(1) 生コンクリート

生コンクリートの価格の状況を示すと表7のとおりである。

表7 生コンクリート価格の状況

(単位：円/m³)

区 分		最 高	最 低	平 均	標準偏差	データ数
180	18 cm	15,200	8,635	12,199	1,713	35
	21 cm	16,500	9,360	12,493	1,681	24
210	18 cm	16,150	8,500	12,496	1,774	43
	21 cm	16,000	9,500	12,732	1,660	28

表7を見ると、平均では呼び強度180 kg/cm³、スランプ18 cm、21 cm、呼び強度210 kg/cm³、スランプ18 cm、21 cmの順に高くなっており、また、個別にみても複数のデータが揃っている都市においては、おおむね同様の順かまたは等しいという結果になっている。

また、生コンクリートの地域差を見るために、全国を14地域に区分して、各地域の平均を求めると表8のとおりである。

表8 生コンクリート価格の地域差

(円/m³)

区分 地域	180 kg/cm ³		210 kg/cm ³	
	18 cm	21 cm	18 cm	21 cm
(1) 北海道	—	—	1 6,150	—
(6) 東北	(5) 1 0,060	(5) 1 4,230	(4) 1 2,963	(4) 1 3,188
(3) 北関東	(1) 1 1,500	(1) 1 1,500	1 1,400	1 1,633
(4) 南関東	(2) 1 2,550	(1) 1 1,400	1 1,625	(1) 1 1,700
(4) 北陸	(3) 1 2,177	(1) 1 2,600	1 3,338	(2) 1 4,400
(3) 中部	1 2,733	(1) 1 1,400	(1) 1 1,700	1 3,150
(3) 中京	(1) 1 3,800	(1) 1 3,800	1 3,467	(1) 1 4,100
(3) 北近畿	1 2,357	1 2,200	1 2,827	1 2,700
(3) 南近畿	1 1,357	1 1,487	1 1,813	1 2,047
(2) 山陰	1 4,015	1 4,170	1 4,480	1 4,645
(3) 山陽	1 4,925	—	1 3,930	—
(4) 四国	1 1,130	(3) 1 1,773	1 1,658	(3) 1 2,240
(3) 北九州	9,868	(2) 1 0,700	1 0,412	(2) 1 1,275
(5) 南九州	(3) 1 1,867	(3) 1 2,083	1 2,070	(3) 1 2,467

(注) ()内の数字は各地域内の都道府県数及び平均を求めるために用いたデータ数、記入がないものは、その地域に属する都道府県のデータの平均である。また、平均値は小数点以下を四捨五入した。

データ数が1団体分しかない区分については個別的事情に左右され易いため、複数のデータが存する区分について比較してみると北九州、北関東が安く、山陰、山陽が高くなっている。

(2) 鉄筋

鉄筋の価格の状況を示すと表9のとおりである。

表9 鉄筋価格の状況

(単位:円/t)

区分	最高	最低	平均	標準偏差	データ数
10mm	116,000	33,000	49,338	15,390	47
13mm	116,000	34,000	48,168	15,018	47
19~25mm	116,000	33,500	47,180	14,757	46

表9を見ると、鉄筋の価格はかなりバラツキがあるように見えるが、各区分の平均は、1,000~1,200点ずつ安くなっており、個々のデータを見てもおおむね鉄筋は10mm、13mm、19~25mmの順に安くなっていると言える。

また、鉄筋価格の地域差を見るために、全国を14地域に区分して、各地域の平均を求めると表10のとおりとなる。

表10 鉄筋価格の差

(円/t)

地域 \ 区分	10mm	13mm	19~25mm
(1) 北海道	48,000	47,000	46,000
(6) 東北	65,667	63,833	(5) 67,400
(3) 北関東	47,333	46,333	45,333
(4) 南関東	49,325	48,825	47,950
(4) 北陸	42,625	41,375	40,875
(3) 中部	59,000	59,000	58,000
(3) 中京	38,833	37,833	37,167
(3) 北近畿	40,333	39,667	39,333
(3) 南近畿	46,833	45,833	44,833
(2) 山陰	46,000	45,500	42,500
(3) 山陽	52,500	50,833	49,167
(4) 四国	45,250	43,500	42,250
(3) 北九州	50,700	49,367	47,667
(5) 南九州	45,900	44,300	42,700

(注) ()内の数字は各地域内の都道府県の数及び平均を求めるために用いたデータ数。記入がないものは、その地域に属する都道府県のデータの平均である。また、平均値は小数点以下を四捨五入した。

表10を見ると、東北、中部が高く、中京、北近畿が低くなっている。

生コンクリート及び鉄筋についてはかなり価格差が大きくなっているが、これは、時期による価格の変動が大きいことに起因している可能性が高いため、一概に地域による差と認めることはできないものと考えられる。

5 施工会社及び販売形態の状況調査

(1) 施工会社の状況

調査対象家屋の施工会社を免許登録別に区分すると表11のとおりである。

表11 施工会社の状況

区 分	建設大臣登録	知事登録
社 数	30	17

今回の調査における建設大臣登録と知事登録の会社数の割合は62：38で、建設大臣登録の方が多かった。

また、住戸数あるいは工事価額の各段階区別に施工会社の状況をみると表12のとおりである。

表12 住戸数、工事価額別の施工会社の状況

(住 戸 数 別)

住 戸 数 (戸)	棟 数	施工会社の状況	
		建設大臣 登 録	知事登録
1～10	1	1	—
11～20	17	13	4
21～30	21	11	10
31～40	5	3	2
41～50	2	1	1
51～	1	1	—

(工 事 価 額 別)

工事価額 (億円)	棟 数	施工会社の状況	
		建設大臣 登 録	知事登録
～1	3	3	—
1～2	23	15	8
2～3	15	9	6
3～4	3	1	2
4～5	2	1	1
5～	1	1	—

過去の調査では、一般に規模の大きいもの、あるいは工事価格の高いものは、建設大臣登録の会社が施工しているという傾向があったが今回のデータからは必ずしもそのような傾向は読みとれない。

(2) 販売形態の状況

調査対象家屋の販売形態を分譲か賃貸か、民間会社か、公団・公社かに区分すると表13のとおりである。

表13 販売形態の状況

区 分	分 譲		賃 貸	
	民間会社	公団・公社	民間会社	公団・公社
棟 数	7	1	38	2

(注) 民間会社のもので、分譲と賃貸の両方のものが1棟あった。

表13を見ると、民間会社の賃貸住宅が調査対象家屋の大半を占めていることがわかる。

Ⅲ 計数資料等

1 共同住宅（RC造）に係る調査対象家屋の状況

調査都市	戸数 (戸)	階数 (階)	延べ床面積 (m^2)	一戸当たり 延べ床面積 ($m^2/戸$)	単位当たり 建築価額 ($円/m^2$)	単位当たり 再建築費評 点数($点/m^2$)	評点水準 (%)
札幌	20	4	718.24	35.91	146,163	97,588	66.77
仙台	30	5	2,329.08	77.64	126,851	92,805	73.16
盛岡	13	3	931.76	71.67	111,429	79,008	70.90
仙台	20	4	1,532.80	76.64	113,126	84,635	74.81
秋田	16	4	1,193.40	74.59	131,548	86,906	66.06
山形	15	3	927.41	61.83	180,017	105,084	58.37
福島	20	4	1,049.76	52.49	136,412	87,439	64.10
水戸	49	8	3,881.40	79.21	156,387	105,497	67.46
宇都宮	43	6	2,712.96	63.09	153,978	104,609	67.94
前橋	18	3	1,343.33	74.63	128,554	78,930	61.40
浦和	30	5	1,787.92	59.60	173,945	91,690	52.71
千葉	32	4	1,858.84	58.09	177,530	95,356	53.71
特別区	26	5	1,667.02	64.12	178,951	107,094	59.85
横浜	22	3	1,124.28	51.10	166,879	106,137	63.60
新潟	16	4	1,265.28	79.08	135,312	90,098	66.59
富山	12	4	834.44	69.54	116,617	88,015	75.47
金沢	23	4	1,874.24	81.49	157,799	99,644	63.15
福井	23	4	1,361.00	59.17	153,567	108,411	70.60
甲府	24	4	1,259.03	52.46	174,738	102,757	58.81
長野	12	3	897.84	74.82	159,104	91,969	57.80
岐阜	20	4	1,166.72	58.34	126,268	86,549	68.54
静岡	25	5	1,921.16	76.85	126,164	83,189	65.94
名古屋	12	4	799.56	66.63	125,305	93,979	75.00
津	14	5	1,117.43	79.82	116,338	93,958	80.76
大津	12	3	727.71	60.64	179,632	94,362	52.53
大京	22	4	1,348.71	61.31	130,001	88,070	67.75
大阪	33	7	2,072.99	62.82	140,484	100,937	71.85
神戸	28	4	1,979.52	70.70	129,946	87,103	67.03
奈良	51	9	3,879.42	76.07	112,581	82,387	73.18
和歌山	24	3	1,714.20	71.43	126,298	83,576	66.17
鳥取	24	4	1,556.88	64.87	149,016	76,452	51.30
松江	22	4	1,957.58	88.98	97,824	60,722	62.07
岡山	15	3	1,226.70	81.78	125,277	80,537	64.29
広島	20	4	1,410.92	70.55	116,236	74,241	63.87
山口	40	5	2,179.55	54.49	140,879	86,287	61.25
徳島	40	4	2,408.44	60.21	86,201	68,960	80.00
高松	24	4	1,718.89	71.62	105,307	85,008	80.72
高松	30	5	2,015.94	67.20	122,323	86,140	70.42
高松	6	3	557.10	92.85	179,305	109,410	61.02
福岡	23	4	1,319.82	57.38	92,849	84,858	91.39
佐賀	24	3	499.80	20.83	130,056	94,364	72.56
長崎	25	7	1,432.88	57.32	111,663	93,334	83.59
熊本	20	5	2,140.96	107.05	132,345	88,642	66.98
大分	27	5	2,241.60	83.02	77,716	77,190	99.32
宮崎	27	7	1,750.48	64.83	99,999	86,056	86.06
鹿児島	30	5	2,025.90	67.53	112,608	78,834	70.01
那覇	32	6	1,662.78	51.96	170,919	97,346	56.95

2 共同住宅（RC造）に係る部分別構成比の状況

（単位：％）

調査都市	主体構造部	差 違	間仕切骨組	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建 具	建築設備	仮設工事	その他の工事
札幌	2874	453	0.96	7.32	8.19	5.75	3.55	0.95	1345	2133	339	184
仙台	2839	449	0.57	4.62	8.65	5.32	4.96	1.47	2190	1413	357	184
盛岡	3310	256	1.80	0.81	9.16	4.31	4.44	1.47	1505	1839	415	342
仙台	3868	430	2.13	2.19	7.07	5.33	3.65	2.48	1279	1533	391	213
秋田	3039	772	1.29	4.59	7.43	4.37	3.30	1.00	1040	2323	381	249
山形	4011	443	0.00	9.32	8.09	4.09	2.91	1.77	609	1633	315	171
福島	3592	395	0.72	2.67	5.63	5.63	4.69	0.46	2094	2018	379	206
戸宮	3680	153	3.31	6.67	8.51	3.32	2.82	0.46	853	2018	565	222
宮城	3598	259	1.91	5.78	7.82	4.40	1.67	0.67	1272	2040	348	258
宇都	3505	708	1.80	1.90	8.26	5.75	3.23	2.40	1146	1661	419	238
前	2816	715	2.66	5.83	8.74	3.14	1.57	0.74	1220	2424	361	196
津	3296	655	1.65	2.15	9.58	2.99	3.90	1.27	1246	1987	416	245
千	3082	615	1.34	8.01	6.91	6.61	3.03	0.61	987	2138	309	218
特	3596	555	2.03	8.16	7.66	3.05	2.45	1.55	1165	1712	312	170
別	3793	647	1.17	0.53	11.34	4.60	4.09	0.97	713	2009	367	200
新	3135	280	1.59	6.89	10.52	5.92	3.04	1.57	1337	2009	367	200
富	3280	866	1.18	4.74	7.03	4.14	3.43	0.88	934	2045	332	245
金	3565	474	1.96	3.40	9.23	4.14	3.43	0.88	934	2045	332	245
福	3539	441	1.96	4.10	7.23	5.02	4.54	0.34	944	2259	332	175
甲	3702	180	1.44	2.96	10.64	4.71	3.34	1.53	1026	1973	350	254
長	5073	290	3.06	1.07	8.08	3.92	3.43	1.01	967	1226	241	146
岐	2947	113	1.37	5.40	15.24	4.99	4.79	1.21	1046	1854	481	260
阜	3560	525	1.56	8.70	7.93	4.44	3.24	1.07	1129	1549	352	192
野	3816	519	0.00	5.99	8.79	3.94	2.85	0.98	892	1974	352	192
草	4951	131	1.11	2.85	10.66	4.00	2.78	1.76	505	1557	351	191
原	3237	200	1.51	5.29	8.25	4.10	3.56	2.18	1112	2341	376	245
岡	3302	437	2.37	2.26	7.73	4.55	2.54	0.79	1009	2424	334	357
大	3672	396	1.68	4.65	9.24	3.92	3.57	1.79	1170	1691	380	207
神	3431	320	3.13	2.66	10.77	5.36	3.42	0.54	1125	1876	442	218
奈	3434	233	2.91	5.42	10.70	6.21	3.79	1.41	1032	1646	396	215
高	3750	137	0.62	7.37	8.47	6.04	2.99	1.10	1081	1704	433	235
島	3767	581	0.00	1.90	9.23	4.38	3.32	1.61	865	1611	545	296
根	3372	338	3.84	6.53	8.65	4.12	4.12	1.63	1138	1537	452	246
阿	3405	581	2.21	6.03	10.20	4.66	4.26	2.30	810	1550	446	242
尾	3657	594	1.22	0.78	8.23	5.69	2.64	1.34	1219	1931	384	209
山	3401	654	0.83	2.83	10.13	5.69	6.12	0.94	1508	1508	480	287
根	4201	461	1.85	2.88	7.73	4.23	3.63	1.09	1065	1530	389	212
山	3398	324	2.51	5.01	10.04	6.19	3.39	1.60	1409	1403	384	209
徳	3801	1112	0.54	6.28	4.37	4.97	2.86	4.03	715	1467	272	209
高	3587	403	1.48	1.96	8.41	5.93	3.57	1.22	1328	1832	390	212
松	3520	718	2.00	1.42	9.08	4.50	2.43	1.43	816	2317	351	191
野	3133	651	0.60	2.27	4.58	4.58	2.55	1.43	1551	2570	355	193
賀	3331	748	1.86	5.06	7.42	5.86	3.83	1.49	1083	1710	373	203
本	3476	181	5.67	4.49	8.31	5.98	5.44	1.12	801	1737	472	233
分	4412	329	0.94	2.97	7.06	5.91	4.27	0.69	802	1763	269	251
崎	3298	593	1.19	3.81	10.33	6.65	4.19	0.69	1293	1456	445	228
島	4232	192	2.34	3.71	5.81	5.21	1.34	0.22	1177	1853	442	240

（注）外周壁骨組、特殊設備に係る構成比はサンプル数が少ないため省略した。

3 共同住宅（RC造）に係る部分別評点数の状況

（単位：点）

調査都市	主体構造部	券	壁	窓	断仕切骨組	外部仕上	内部仕上	床仕上	天井仕上	屋根仕上	建	具	建築設備	仮設工事	その他の工事
札幌	28,043	4,421	938	7,148	7,989	5,607	3,466	926	1,3126	2,0813	13,126	2,0813	3,310	1,800	
青森	26,346	4,166	525	4,283	4,939	4,283	4,606	1,368	20,321	13,110	20,321	13,110	3,309	1,800	
茨城	26,152	2,022	1,425	3,403	7,339	3,403	3,511	2,219	11,891	14,529	11,891	14,529	3,275	2,700	
仙台	32,741	3,638	1,800	1,850	5,987	4,510	3,093	2,103	10,825	12,978	10,825	12,978	3,310	1,800	
秋田	26,408	6,707	1,120	3,985	6,455	3,800	2,868	866	20,185	20,185	20,185	20,185	3,310	2,160	
山形	42,147	4,654	0	9,792	4,301	4,301	4,099	1,581	8,500	17,155	8,500	17,155	3,310	1,800	
福島	31,407	3,455	628	2,331	7,011	4,919	4,099	1,581	8,584	18,312	8,584	18,312	3,310	1,800	
水戸	38,828	1,618	3,497	7,032	8,980	3,501	2,971	484	8,995	21,294	8,995	21,294	5,957	2,340	
宇都	37,637	2,714	1,993	6,047	8,176	4,607	6,966	1,330	13,304	21,342	13,304	21,342	3,641	2,700	
都	27,562	5,592	1,420	1,496	6,517	4,539	4,546	1,893	9,049	13,107	9,049	13,107	3,309	1,800	
栃	25,816	6,554	2,440	5,350	8,017	2,879	1,439	676	11,184	22,224	11,184	22,224	3,310	1,800	
千	31,432	6,248	1,575	2,046	9,131	2,851	3,721	1,210	11,884	18,948	11,884	18,948	3,971	2,339	
葉	33,003	6,583	1,430	7,084	7,401	7,084	3,244	652	10,571	22,893	10,571	22,893	3,309	2,339	
区	38,163	5,891	2,154	8,566	8,132	3,238	2,603	1,647	12,361	18,173	12,361	18,173	3,309	1,800	
茨	34,175	5,828	1,050	4,177	10,220	4,149	3,686	875	6,426	18,102	6,426	18,102	3,310	1,800	
埼	27,593	2,466	1,397	6,065	9,255	5,214	2,679	1,380	11,765	14,733	11,765	14,733	3,309	2,159	
新	32,980	8,632	1,177	4,721	7,001	4,125	3,422	82	9,306	20,373	9,306	20,373	3,310	2,700	
富	38,647	5,144	2,369	3,681	9,793	5,459	4,161	1,324	10,865	20,957	10,865	20,957	3,310	2,700	
金	36,366	4,536	2,010	4,211	7,433	5,162	4,665	351	9,697	23,217	9,697	23,217	3,309	1,800	
福	34,051	1,658	1,321	2,721	9,783	4,331	3,072	1,410	9,435	18,141	9,435	18,141	3,309	2,339	
長	43,909	2,507	2,446	9,25	6,993	3,396	2,968	836	8,667	10,615	8,667	10,615	2,085	1,260	
岐	24,514	937	1,140	4,494	12,678	4,149	3,993	1,008	8,698	15,423	8,698	15,423	4,005	2,160	
名	33,459	4,932	1,467	8,173	7,481	4,172	3,048	1,008	10,606	14,554	10,606	14,554	3,309	1,800	
古	35,851	4,880	0	5,631	8,255	3,705	2,675	918	8,383	18,548	8,383	18,548	3,310	1,800	
津	46,721	1,233	1,050	3,771	10,055	3,771	2,627	1,647	4,763	14,693	4,763	14,693	3,310	1,800	
都	28,507	1,763	1,327	4,659	7,267	3,609	3,131	1,924	9,796	20,619	9,796	20,619	3,309	2,159	
阪	33,227	4,406	2,397	2,286	7,801	4,595	2,559	794	10,182	24,466	10,182	24,466	3,972	3,600	
大	31,986	3,445	1,466	4,052	8,050	3,417	3,108	1,555	10,190	14,725	10,190	14,725	3,309	1,800	
京	28,265	2,640	2,578	2,190	8,873	4,412	2,819	449	9,265	15,455	9,265	15,455	3,641	1,800	
神	28,700	1,944	2,435	4,531	8,943	5,191	3,165	1,179	8,624	13,754	8,624	13,754	3,310	1,800	
和	28,672	1,045	475	5,633	6,477	4,620	2,285	836	8,266	13,029	8,266	13,029	3,310	1,800	
鳥	27,160	2,726	0	5,237	5,603	4,316	2,016	994	5,251	9,783	5,251	9,783	3,309	1,800	
取	25,280	4,313	1,644	4,475	7,570	3,460	3,164	1,711	6,011	11,504	6,011	11,504	3,309	1,800	
江	31,352	5,129	1,049	6,712	7,103	5,063	2,274	1,154	10,517	16,664	10,517	16,664	3,310	1,800	
山	23,453	4,510	5,669	1,953	6,983	3,921	4,219	927	6,777	10,397	6,777	10,397	3,310	1,800	
口	35,716	3,917	1,575	2,452	6,571	3,596	3,092	1,375	12,135	13,009	12,135	13,009	3,310	1,800	
徳	29,268	2,792	2,160	4,313	8,649	5,330	2,919	405	7,823	16,046	7,823	16,046	2,979	3,600	
茨	41,589	1,2167	587	6,856	7,130	4,405	3,130	1,037	11,269	15,459	11,269	15,459	3,310	1,800	
後	30,440	3,422	1,260	1,666	7,136	5,029	3,030	1,349	7,703	21,863	7,703	21,863	3,310	1,800	
高	33,220	6,776	1,690	1,344	8,569	4,244	2,266	1,476	14,476	23,989	14,476	23,989	3,310	1,800	
知	29,241	6,073	560	2,123	4,545	4,277	3,394	1,323	9,597	15,158	9,597	15,158	3,310	1,800	
田	26,833	1,594	1,645	4,489	6,580	5,190	3,394	865	6,183	13,410	6,183	13,410	3,641	1,800	
賀	26,937	1,394	4,375	3,463	6,414	4,615	4,197	65	6,899	15,175	6,899	15,175	2,317	2,160	
本	37,972	2,828	805	2,559	6,076	5,083	3,675	507	10,197	11,476	10,197	11,476	3,507	1,800	
分	41,200	4,673	940	3,07	8,147	5,240	3,300	1,304	11,458	18,040	11,458	18,040	4,302	2,339	
崎	26,000	1,869	2,281	3,607	5,655	5,072	1,304	219	1,458	18,040	1,458	18,040	4,302	2,339	
鹿	41,200	1,869	2,281	3,607	5,655	5,072	1,304	219	1,458	18,040	1,458	18,040	4,302	2,339	
那	41,200	1,869	2,281	3,607	5,655	5,072	1,304	219	1,458	18,040	1,458	18,040	4,302	2,339	

（注）外周壁骨組、特殊設備に係る評点数はサンプル数が少ないため省略した。

4 主体構造部及び基礎に係る施工量等の状況

調査都市	主体構造部		基礎		地盤
	鉄筋使用量 (t/m ²)	コンクリート使用量 (m ³ /m ²)	杭の使用本数 (本/m ²)	使用杭の種類	
札幌	0.065	0.627	0.110	鉄筋コンクリート杭	普通
青森	0.058	0.602	0.069	"	やや軟弱
盛岡	0.055	0.603	-	-	普通
仙台	0.080	0.710	0.047	鉄筋コンクリート杭(PC杭)	"
秋田	0.061	0.589	0.066	"	"
山形	0.084	0.920	-	-	"
福島	0.076	0.659	0.051	鉄筋コンクリート杭	"
水戸	0.117	0.756	0.007	ベデスタル杭	"
宇都宮	0.110	0.722	0.035	鉄筋コンクリート杭	"
前橋	0.060	0.633	0.063	"	"
浦和	0.066	0.564	0.011	アースドリル杭	"
千葉	0.072	0.814	0.059	鉄筋コンクリート杭	"
特別区	0.081	0.749	0.143	ベデスタル杭	"
横浜	0.097	0.812	0.038	"	"
新潟	0.076	0.772	0.061	鉄筋コンクリート杭	"
富山	0.070	0.604	0.089	"	"
金沢	0.074	0.733	-	-	"
福井	0.103	0.745	0.044	PHC杭	"
甲府	0.082	0.819	0.085	HCTOP杭	"
長野	0.089	0.716	-	-	"
岐阜	0.129	0.949	0.073	鉄筋コンクリート杭	"
盛岡	0.054	0.566	-	-	"
名古屋	0.085	0.714	0.100	鉄筋コンクリート杭	"
津	0.101	0.720	0.047	"	"
大津	0.094	1.097	-	-	"
京都	0.061	0.635	-	-	やや軟弱
大阪	0.093	0.676	0.035	場所打コンクリート杭	普通
神戸	0.075	0.708	0.060	鉄筋コンクリート杭	"
奈良	0.076	0.585	0.006	場所打コンクリート杭	"
和歌山	不明確	不明確	-	-	軟弱
鳥取	0.090	0.589	-	-	普通
松江	0.050	0.511	0.058	鉄筋コンクリート杭	"
岡山	0.065	0.598	0.022	"	やや軟弱
広島	0.046	0.575	0.032	"	普通
山口	0.081	0.667	0.066	"	"
徳島	不明確	不明確	0.040	鉄筋コンクリート(アースドリル杭)	"
高松	0.091	0.759	0.062	PC杭	堅牢
松山	0.070	0.641	0.074	鉄筋コンクリート杭(PC杭)	普通
高知	0.097	0.858	0.043	ベデスタル杭	やや軟弱
福岡	0.082	0.637	0.055	鉄筋コンクリート杭	普通
佐賀	0.110	0.869	0.076	PHC杭	軟弱
長崎	0.065	0.663	0.011	場所打ちコンクリート杭	普通
熊本	0.059	0.696	0.147	鉄筋コンクリート杭(PHC杭)	"
大分	0.053	0.730	-	-	"
宮崎	0.096	0.810	0.042	鉄筋コンクリート杭	"
鹿児島	0.057	0.591	0.061	"	"
那覇	不明確	不明確	0.056	"	"
平均	0.079	0.704	0.058		
最大	0.129	1.097	0.147		
最小	岐阜	大津	熊本		
	広島	松江	奈良		
標準偏差	0.019	0.118	0.058		

5 建築設備に係る部分別評点数と設備内容

調査都市	電 気 設 備									
	評点数 (点/㎡)	動力配線 設 備	電灯コント セント 配線設備	蛍 光 灯 用 器 具	白熱灯 用 器 具	呼 出 信 号 設 備	インダー ホ 配線設備	テレビジ ョン共 同 視聴設備	電話配線 設 備	その他の設備
札幌市	4,361	○	○	○	○		○	○	○	
青森市	4,717		○	○	○			○	○	
盛岡市	2,689		○	○	○			○	○	
仙台市	4,796	○	○	○	○			○	○	
秋田市	4,937		○	○	○			○	○	
山形市	5,455		○	○	○			○	○	
福島市	5,126		○	○	○	○		○	○	
水戸市	6,346	○	○	○	○		○	○	○	
宇都宮市	5,611	○	○	○	○			○	○	
前橋市	4,025		○	○	○			○	○	
浦和市	6,530	○	○	○	○		○	○	○	
千葉市	4,805		○	○	○			○	○	
特別区	6,565	○	○	○	○			○	○	
横浜市	5,335	○	○	○	○			○	○	
新潟市	4,584	○	○	○	○			○	○	電鈴設備
富山市	3,779		○	○	○		○	○	○	
金沢市	4,507		○	○	○	○		○	○	
福井市	4,923		○	○	○		○	○	○	
甲府市	6,517	○	○	○	○			○	○	
長野市	3,564		○	○	○			○	○	電鈴設備
岐阜市	2,734	○	○	○	○			○	○	電鈴設備
静岡市	3,432	○	○	○	○	○		○	○	
名古屋市	4,274	○	○	○	○		○	○	○	
津市	3,949	○	○	○	○			○	○	
大津市	4,300		○	○	○			○	○	
京都市	4,583	○	○	○	○			○	○	
大阪市	4,427	○	○	○	○			○	○	
神戸市	4,565	○	○	○	○			○	○	
奈良市	3,275	○	○	○	○			○	○	
和歌山市	3,626		○	○	○			○	○	
鳥取市	3,166		○	○	○			○	○	電鈴設備
松江市	4,058		○	○	○			○	○	
岡山市	2,450		○	○	○			○	○	
広島市	3,153	○	○	○	○		○	○	○	
山口市	5,101		○	○	○			○	○	
徳島市	3,781		○	○	○			○	○	
高松市	4,068	○	○	○	○			○	○	電鈴設備
松山市	3,610		○	○	○			○	○	
高知市	4,242		○	○	○			○	○	電鈴設備
福岡市	2,860		○	○	○			○	○	
佐賀市	6,001		○	○	○	○		○	○	
長崎市	4,678	○	○	○	○	○		○	○	
熊本市	4,067		○	○	○		○	○	○	
大分市	3,674	○	○	○	○			○	○	
宮崎市	2,703		○	○	○			○	○	電鈴設備
鹿児島市	3,080	○	○	○	○	○		○	○	
那覇市	4,990	○	○	○	○			○	○	

調査都市	衛 生 設 備								その他の設備
	評点数 (点/㎡)	給水設備	排水設備	中央式 給湯設備	衛生器具 設 備	ユニット バ ス	ガス設備	浄化槽 備	
札幌市	15,316	○	○			○	○		流し台、瞬間ガス湯沸器
青森市	7,689	○	○		○		○	212人	
盛岡市	11,840	○	○		○	○	○		
仙台市	7,734	○	○		○		○		
秋田市	15,004	○	○		○		○	40人	
山形市	10,225	○	○		○	○	○		
福島市	11,786	○	○		○	○	○		
水戸市	11,965	○	○		○	○	○		
宇都宮市	11,330	○	○		○	○	○		
前橋市	8,594	○	○		○	○	○	○	
浦和市	11,395	○	○		○	○	○	120人	
千葉市	13,751	○	○	○	○	○	○		流し台、洗面台
特別区	11,099	○	○		○	○	○		
横浜市	11,581	○	○		○	○	○		
新潟市	13,083	○	○		○	○	○		
富山市	10,725	○	○		○	○	○	50人	流し台、洗面台
金沢市	14,469	○	○	○	○	○	○		
福井市	14,676	○	○		○	○	○		
甲府市	15,451	○	○	○	○	○	○	○	
長野市	14,012	○	○		○	○	○		
岐阜市	6,729	○	○		○	○	○		
静岡市	11,496	○	○		○	○	○		
名古屋市	9,173	○	○		○	○	○		ガス湯沸器
津市	9,547	○	○		○	○	○	80人	
堺市	9,246	○	○		○	○	○	50人	洋式便器、流し台
大京都市	12,578	○	○		○	○	○	100人	流し台
大阪市	15,838	○	○		○	○	○		局所式給湯設備、ユニットキッチン、流し台、洗面台
神戸市	9,915	○	○		○	○	○		
奈良市	9,780	○	○		○	○	○		
和歌山市	9,742	○	○		○	○	○	140人	流し台
鳥取市	9,230	○	○		○	○	○		
松江市	4,483	○	○		○	○	○	80人	洋式便器、流し台、洗面台
岡山市	9,653	○	○		○	○	○		
広島市	7,879	○	○		○	○	○		
山口市	9,973	○	○		○	○	○		浴槽(ステンレス製)
徳島市	6,313	○	○		○	○	○		浴槽(ポリエステル製)
高松市	8,670	○	○		○	○	○		
松山市	8,140	○	○		○	○	○		
高知市	11,556	○	○		○	○	○	30人	浴槽(ポリエステル製)、流し台
福岡市	11,562	○	○		○	○	○		局所式給湯設備
佐賀市	13,673	○	○		○	○	○		
長崎市	14,357	○	○		○	○	○		
熊本市	8,146	○	○		○	○	○		
大分市	8,368	○	○		○	○	○		
宮崎市	9,349	○	○		○	○	○		
鹿児島市	7,992	○	○		○	○	○		
那覇市	7,704	○	○		○	○	○		

調査対象 都市名	空調設備			防災設備				運搬設備	
	評点数 (点/㎡)	換気設備	換気扇 (径・cm)	その他の設備	評点数 (点/㎡)	避雷突針 設備	火災報知 設備	その他の設備	乗用エレベータ (規格・交流型)
札幌市	940	○		レンジフード	196		○		
青森市	704	○			—				
盛岡市	—				—				
仙台市	300			レンジフード	148	○			
秋田市	244	○			—				
山形市	1,475	○			—				
福島市	438			レンジフード	962		○		
水戸市	763	○		レンジフード	684	○		消化栓設備	1,536
宇都宮市	1,106	○			1,326	○	○	消化栓設備	1,969
前橋市	488	○			—				
浦和市	385			レンジフード	1,177	○	○		2,737
千代田市	392	○			—				
特別区	526	○			—				4,703
横浜市	292	○			965		○		
新潟市	435	○		レンジフード	—				
富山市	229	○			—				
金沢市	295	○			1,102		○		
福井市	308	○			1,050		○		
甲府市	347	○			902		○		
長野市	565	○			—				
岐阜市	586	○			566		○		
静岡市	326	○			169	○			
名古屋市	135	○			972		○		
津市	228	○			1,159	○	○		3,665
大津市	165	○			982		○		
京都府	2,399	○			1,059		○		
大阪市	169	○			1,455	○	○	消化栓設備	2,577
神戸市	245	○			—				
奈良市	—				881	○	○		1,507
和歌山市	386			レンジフード	—				
鳥取市	633	○			—				
松江市	192	○			1,050		○		
岡山市	279	○			—				
広島市	311	○			161	○			
山口市	510	○			1,080		○		
徳島市	303	○			—				
高松市	271	○			—				
松山市	339	○			—				
高知市	248	○			—				
福岡市	1,037	○		レンジフード	—				
佐賀市	2,189	○			—				
長崎市	401	○		レンジフード	903		○		3,650
熊本市	1,950	○			992		○		
大分市	192	○			1,176	○	○		
宮崎市	154	○			130				2,839
鹿児島市	270	○			134	○			
那覇市	519	○			1,749	○	○	消化栓設備	3,078

6 主要資材価格、施工会社及び販売形態の状況

既設都市	生コンクリート (呼び強度180kg/cm ² :円/m ³)		生コンクリート (呼び強度210kg/cm ² :円/m ³)		鉄筋(SDmm:円/t)			業者登録 の区分	分譲・賃貸 の区分	民間・公団 の区分
	スランブ18cm	スランブ21cm	スランブ18cm	スランブ21cm	10	13	19~25			
札幌	0	0	16,150	0	48,000	47,000	46,000	事	貸	民間
仙台	14,800	14,950	15,050	15,250	70,000	66,000	63,000	大	貸	民間
仙台	9,100	12,500	9,400	9,500	37,000	36,000	35,000	大	貸	民間
仙台	13,000	16,500	0	0	58,000	56,000	53,000	大	貸	民間
仙台	13,600	13,300	13,400	13,700	116,000	116,000	116,000	大	貸	民間
仙台	11,500	13,900	14,000	14,300	70,000	72,000	70,000	大	貸	民間
仙台	13,700	11,500	11,500	11,700	38,000	38,000	38,000	大	貸	民間
仙台	11,400	11,400	11,000	11,000	64,000	63,000	61,000	大	貸	民間
仙台	11,600	11,400	14,300	14,300	39,000	38,000	37,000	大	貸	民間
仙台	12,150	12,600	12,750	12,800	46,800	46,800	46,800	大	貸	民間
仙台	12,600	11,400	11,700	11,700	57,500	57,500	57,000	大	貸	民間
仙台	11,400	13,100	13,600	13,600	56,000	54,000	51,000	大	貸	民間
仙台	13,700	0	14,150	14,150	37,000	37,000	37,000	大	貸	民間
仙台	13,800	13,800	13,000	14,100	37,000	36,000	38,000	大	貸	民間
仙台	13,500	0	14,000	14,000	41,000	40,000	39,000	大	貸	民間
仙台	12,200	12,200	12,700	12,700	39,500	38,500	37,500	大	貸	民間
仙台	11,900	11,900	12,300	12,300	51,000	51,000	49,000	大	貸	民間
仙台	13,200	13,200	14,000	14,000	51,000	51,000	50,000	大	貸	民間
仙台	11,370	0	11,780	0	45,000	45,000	43,000	大	貸	民間
仙台	8,970	9,360	9,410	9,840	81,000	81,000	81,000	大	貸	民間
仙台	13,800	13,800	14,250	14,250	39,000	38,000	38,000	大	貸	民間
仙台	14,230	14,540	14,710	15,040	38,500	37,500	36,500	大	貸	民間
仙台	14,650	0	13,550	0	39,000	38,000	37,000	大	貸	民間
仙台	15,200	0	14,450	0	42,500	41,500	40,500	大	貸	民間
仙台	12,120	12,390	13,800	12,570	35,500	35,500	35,500	大	貸	民間
仙台	9,100	9,430	9,560	12,890	51,000	49,000	47,000	大	貸	民間
仙台	13,100	13,500	13,500	13,900	36,500	36,500	36,500	大	貸	民間
仙台	10,200	0	11,000	0	43,000	42,000	42,000	大	貸	民間
仙台	8,635	0	9,185	0	53,000	52,000	51,000	大	貸	民間
仙台	10,800	11,100	11,350	11,700	33,000	34,000	35,000	大	貸	民間
仙台	10,150	10,300	10,700	10,850	54,500	53,500	52,500	大	貸	民間
仙台	11,100	0	12,000	0	48,000	46,000	44,000	大	貸	民間
仙台	12,500	12,700	12,800	13,000	38,000	37,000	36,000	大	貸	民間
仙台	12,000	12,150	12,350	12,500	54,000	51,000	50,000	大	貸	民間
仙台	12,000	0	12,350	0	45,100	45,100	44,000	大	貸	民間
仙台	12,000	0	12,350	0	67,000	64,000	61,000	大	貸	民間
仙台	12,000	0	12,350	0	40,000	39,000	38,000	大	貸	民間
仙台	12,000	0	12,350	0	42,000	41,000	40,000	大	貸	民間
仙台	12,000	0	12,350	0	36,000	35,000	34,000	大	貸	民間
仙台	12,000	0	12,350	0	68,000	64,000	60,000	大	貸	民間
仙台	12,000	0	12,350	0	35,500	34,500	33,500	大	貸	民間
仙台	12,000	0	12,350	0	48,000	47,000	46,000	大	貸	民間

7 調査対象家屋の部分別仕上げ資材一覧

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
北海道 (札幌市)	小口二丁掛タイル (窯変) 57% コンクリート打放 (下) 43% (加算点) 陶磁器質状吹付 磁器質系(並) 43%	小口二丁掛タイル (窯変) 1% 小口二丁掛タイル (白色) 4% 石膏ボード (9mm) 2% 石綿セメント板フレキシブル板 (6.3mm) 1% 石綿セメント板化粧板(6.0mm) 2% 合成樹脂壁紙(並・無地) 69% コンクリート打放 (下) 11% 木毛板(25mm) 6% 複合板打込(SF 25mm+PB 9mm) 4% (加算点) 二重貼石膏ボード (12mm) 6% 陶磁器質状吹付 磁器質系(並) 11%	小口二丁掛タイル (色物) 3% 軟質クッションフロアー(中) 17% 硬質クッションフロアー(中) 34% じゅうたん(並) 26% ラワン合板 (5.5mm) 5% モルタル金ごて14% コンクリート金ごて 1% (加算点) 防水モルタル 5% 樹脂防水 14% スタイルホーム打込 (30mm) 85%	石膏ボード吸音板 (9mm) 10% 石膏ボード普通板 (9mm) 5% 合成樹脂紙貼(並・無地) 62% コンクリート打放 (下) 17% アルミニウム成形板 (上) 1% 木毛セメント板打込 (25mm) 1% 複合板打込(スタイル 25mm+木毛25mm) 4% (加算点) 陶磁器質状吹付 磁器質系(並) 4% 砂壁状吹付 アクリル系(並) 10% スタイルホーム打込 (50mm) 30%	アスファルト(露出防水) 100%	(アルミニウム建具) かまち戸(100mm) かまち戸(70mm) サッシュ固定式(100mm) サッシュスライド(70mm) サッシュ送り出し (100mm) サッシュ送り出し (70mm) 固定式ガラリ(並) (鋼製建具) フラッシュ戸(100mm) フラッシュ戸(85mm) アンクル戸(85mm) (プラスチック) サッシュ(内側) (木製建具) フラッシュ戸(しな合板) かまち戸(ラワン) サッシュ(回転式90mm) 模(並) (ガラス) 磨き板ガラス(5mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		合成樹脂ペイント (下) 1% スタイロホーム打込 (38mm) 42% スタイロホーム (30mm) 3% 防水モルタル 6%		スタイロホーム (20mm) 21% 岩綿吹付(並) 1%		網入り磨板ガラス (6.8mm) 型板ガラス(4mm) 普通板ガラス(透明 3mm) 熱線吸収ガラス(磨 き板5mm) 熱線吸収ガラス網入 り磨(6.8mm) 強化ガラス(12mm)
青森県 (青森市)	コンクリート打放 (中) 100% (加算) モルタル木ごと磨き 3% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 97%	角タイル (100mm・白) 6% 石綿フレキシブル板 5% ラワン合板 (4mm) 20% コンクリート打放 (中) 6% 石膏ボード (9mm) 30% 合成樹脂被覆合板 (3mm) 4% プリント合板 (3mm) 29%	モルタル金ごて18% コンクリート直上 げ(金ごて) 3% モザイクタイル (角) 1% 塩化ビニルタイル (半硬質) 1% 畳(中) 33% モザイクパケット (ぶな) 37% ラワン合板 (5.5mm) 7% (加算) 断熱材 94%	石膏ボード吸音板 18% フレキシブル板 (5mm) 6% コンクリート打放 (中) 69% ラワン合板 (4mm) 7% (加算) 断熱材 97% 油性ペイント 6% 現場調合モルタル 69%	アスファルト防水 100%	(木製) スライド・90mm フラッシュ・しな合 板 かまち(ラワン) 障子(腰なし) (鋼製) フラッシュ(85mm) (アルミ) スライド(70mm) 入り出し(70mm) かまち(70mm) (ガラス) 透明ガラス(3mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		(加算) エマルジョンペイント 6% モルタル金ごて 6% 油性ペイント 35% 断熱材 100%				型板ガラス(4mm) 型板ガラス(2mm)
岩手県 (盛岡市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 100%	砂壁(並) (ラスボード・9mm) 8.3% 合成樹脂壁紙(並・ 無)(ボード・12mm) 5.7% 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 8.5% 石膏ボード (9mm) 1.4% モルタル金ごて磨 3.3% 砂壁付合成樹脂吹付 (アクリル系) 5% 角タイル(100mm・ 角色物) (ラスボード・12mm) 4.8%	モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 7.3% 皿(中) 1.4% ラワン合板 (5.5mm) 6.3% 角タイル(100mm・ 角色物) 9.3% モルタル金ごて仕上 げ 1.2% コンクリート直仕上 げ(金ごて仕上げ) 2.3% 軟質クッションフロ ア(中) 59.6%	合成樹脂系エマルジ ョンペイント 6.1% 一重回り縁(等縁角) 下 13.9% 石膏ボード普通板 (7mm) 6.2% モルタル金ごて仕上 げ 1.2% 木毛セメント板 (25mm) 1.1% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 5.6% 石綿セメント板 フレキシブル板 (普通板) 5mm十 合成樹脂系ペイント (並) 4%	(ステンレス) 防水 100%	(木製) サッシュスライド式 (枠見込90mm) フラッシュ戸(しな合板) 障子(腰付縁なし) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込100mm) フラッシュ戸(枠見 込85mm) アングル戸(枠見込 85mm) (アルミニウム) サッシュスライド式 (枠見込70mm) サッシュ固定式(枠 見込70mm)

外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
都道府県 (調査都市)			合成樹脂紙貼(並・ 無地) 61.9%		サッシュェイペリ出し (枠見込70mm) 網戸(合成樹脂網) (ガラスブロック等) ガラスブロック透明 190×190×95mm (ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 普通板ガラス(透明 3mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 型板ガラス(2mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚) 複層ガラス(普通板 16mm厚)
宮城県 (仙台市)	角タイル(100mm角 ・色物) 18%	モルタル金ごて仕上 げ 21%	石膏ボード 普通板(9mm) 14%	アスファルト防水 (モルタル目地切) (6層) 100%	(木製) フラッシュ戸 合成樹脂被覆合板 かまち戸ラワン ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm)
	石荷ボード (12mm) 58%	モザイクタイル(角 型・色物) 5%	石膏ボード 吸音板(9mm) 57%		
	石荷ボード (9mm) 2%	角タイル(100mm角 ・色物) 3%	合板ラワン合板 (4mm) 1%		
	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 15%	合成樹脂壁普通畳表 床(55mm) 28%	合板プリント合板 (4mm) 23%		
	陶磁器管状吹付 (磁器質系) 87%				
	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 13%				

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		合板ラワン合板 (4mm) 7% (加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 60%	モザイクパーケット (桜) 20% 線甲板(栓) 4% フロ어링(なら・ 15mm) 2% 合板ラワン合板 (5.5mm) 2% 硬質クッションフロ ア(中) 15%	合成樹脂板塩化ビニ ル(並) 5% (加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 14%		(アルミニウム) サッシュェスライド式 (枠見込70mm) かまち戸(枠見込 70mm) 網戸・合成樹脂網 (ガラス) 普通板ガラス(透明 3mm) 型板ガラス(4mm) 網入板ガラス(型板 6.8mm) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm)
秋田県 (秋田市)	コンクリート打放 100% (加算) セメント吹付 100%	モルタル金ゴテ磨き 13% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 57% 石膏ボード (9mm) 16% 角タイル(100mm角 ・色物) 5% コンクリート打放 9%	コンクリート直仕上 (金ゴテ) 4% 着色コンクリート床 2% 軟質クッションフロ ア(中) 53% 畳(中) 36% モルタル金ゴテ仕上 げ 5%	石膏ボード (吸音板) 29% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 46% 石膏ボード (着色板) 10% ラワン合板 (40mm) 7% コンクリート打放 (中) 8%	アスファルト防水 (露出防水) 100%	(アルミニウム) サッシュェ(スライド 式見込60mm) サッシュェ(すべり出 し60mm) (鋼製) フラッシュ戸(見込 80mm) (木製) フラッシュ戸(シナ合板)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
山形県 (山形市)	角ダイル 100%	パーティクルボード十 合成樹脂壁紙 85% ラワン合板 (4mm) 2% 樹脂入モルタル吹付 4% 仕上げなし 9%	クリンカータイル 3% モザイクパケケット (なら) 29% 軟質クッションフロ ア(中) 7% 畳(合成樹脂) 36% 単板珪合板(並) 3% ラワン合板 (12mm) 4% モルタル(金ごて) 9% 仕上げなし 9%	石葺ボード十 合成樹脂壁紙 32% 石葺ボード 吸音板 5% 着色板 35% ラワン合板 6% 砂壁状セメント系吹 付 17% 仕上げなし 5%	アスファルト防水 (モルタル目地切) 6層 100%	サッシュスライド式 (見込90mm) 腻子(腰付額ナシ) (ガラス) 磨き板ガラス(5mm) 型板ガラス(4mm) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm)
福島県 (福島市)	厚付型 セメント吹付100%	合成樹脂壁紙 並(柄物) 87.4%	モルタル(金ごて仕 上) 1.98%	ラワン合板 (4mm) 3.44%	アスファルト防水 (露出防水) 100%	(アルミニウム) スライド(70mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		ラワン合板 (4mm) 55.5%	モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系)268% 盤(中) 36.72% ラワン合板 (5.5mm) 3.53% 軟質クッションフロ ア(中) 30.9%	合成樹脂紙貼(並) 柄物 64.97% 石綿セメント板+ エマルジョンペイント 4.24% 厚付型セメント吹付 27.35%	スタイロフォーム 100%	(鋼製) フラッシュ (木製) フラッシュ ふすま(並) 障子 (ガラス) 透明ガラス3mm 型板ガラス4mm 網入型板ガラス
茨城県 (水戸市)	小口二丁掛タイル (窯変) 82% 樹脂入りモルタル 18%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 80% ラワン合板 (4.0mm) 12% 100mm角タイル (窯変) 3% 石綿セメント平板 (6.3mm) 5% (加算) 色セメント吹付 5%	クリンカータイル (150mm角) 12% リノリウム (2mm) 13% 縁甲板 1% 盤(中) 12% ニードルパンチカーペ ット(上) 49% ラワン合板 (5.5mm厚) 9% コンクリート直仕上 げ(金ごて仕上げ) 4%	合成樹脂紙貼(並・ 無地) 65% フレキシブル板(普通 板)5mm厚 13% ラワン合板 (4.0mm厚) 10% 石荷ボード吸音板 (9mm厚) 1% フレキシブル板(普通 板)3mm厚 11% (加算) 色セメント吹付 11%	アスファルト防水 (露出防水)100%	(鋼製) サッシュ(スライド式、 枠見込100mm) サッシュ(すべり出し、 枠見込100mm) サッシュ(嵌殺し、 枠見込100mm) フラッシュ戸(枠見 込150mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド式、 枠見込70mm) サッシュ(嵌殺し、 枠見込70mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
栃木県 (宇都宮市)	モザイクタイル (角型) 60% 陶磁器質吹付 40%	角タイル(100mm角 ・色物) 2% モルタル(金ごて磨 き) 0.4% 合成樹脂壁紙(並 無地) 82.4% ラワン合板 (4.0mm厚) 15.2%	角タイル(100mm角 ・色物) 11.6% 単板張合板(並) 2% 合成樹脂塗床(ポリ ウレタン) 15.2% リノリウム・リノタイル (2mm厚) 36.4%	ラワン合板 (4.0mm厚) 5% 石膏ボード(普通・ 9mm厚) 5.3% 石膏ボード(着色・ 9mm厚) 49.6%	シート防水(合成樹 脂系0.8mm厚、塩化 ビニル系) 100%	(木製) 網戸(合成樹脂網) (木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) かまち戸(杉) 障子(腰付額なし) ふすま(中) 板戸(ラワン合板) (ガラス) 普通板ガラス(5mm 厚) 型板ガラス(4mm厚) 熱線吸収ガラス(網 入磨き板) 磨き板ガラス(5~ 6mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
			合成樹脂畳(普通畳 表床厚55mm) 21.6% ラワン合板 (5.5mm厚) 13.2%	石綿セメント(フレ キシブル板・普通板 4mm厚) 0.7% (加算) エマルジョンペイント 6.1% アクリルリシン吹付 33.3% 断熱材打込 37.3%		ふすま(並) (アルミニウム) かまち戸(粹見込 70mm) サッシュ(スライド式・ 粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) アングル戸(粹見込 85mm) (ガラス) 型板ガラス(4mm厚) 熱線吸収ガラス(フ ロート3mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚)
群馬県 (前橋市)	樹脂入りモルタル吹 付 100%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 76.1%	モルタル(金ごて仕 上げ) 19.9%	合成樹脂紙貼(並・ 無地) 31.9%	シート防水(遊歩用、 合成樹脂系2mm厚、 塩化ビニル系)100%	(木製) サッシュ(スライド式・ 粹見込70mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		角タイル(100mm角 ・白色) 4.4% ラワン合板 (4.0mm厚) 19.5% (加算) 断熱材 26.7%	モザイクパーケット (ぶな) 34.1% 緑甲板(栓) 1.7% 畳(中) 37.9% ラワン合板 (5.5mm厚) 6.4%	石膏ボード(着色板 9mm厚) 36.5% ラワン合板 (4.0mm厚) 5.6% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 26.0%		サッシュ(固定式・ 枠見込90mm) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) アングル戸(枠見込 85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) かまち戸(枠見込 70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 型板ガラス(2mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
埼玉県 (浦和市)	小口二丁掛タイル (色物) 86% 陶磁器質状吹付エボ キシ樹脂系 14%	角タイル(100mm角 ・色物) 2% 石膏ボード (9mm厚) 7% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 74% ラワン合板 (4.0mm厚) 10% 陶磁器質状吹付(エ ボキシ樹脂系) 7%	モルタル(金ごて仕 上げ) 12% 畳(中) 17% ニードルパンチカーペ ット(並) 31% ラワン合板 (5.5mm厚) 6% 軟質クッションフロ ア(中) 29% 仕上げなし 5%	モルタル(金ごて仕 上げ) 2% 石膏ボード(普通板 9mm厚) 1% 石膏ボード(吸音板 9mm厚) 22% ラワン合板 (4mm厚) 3% 単板張合板 3% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 52% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 9% 仕上げなし 8%	アスファルト防水 (露出防水) 100%	(木製) サッシュ(スライド 式・枠見込90mm) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) アングル戸(枠見込 85mm) フラッシュ戸(枠見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込70mm) ガラリ戸 (ガラス) 普通板ガラス(透明 3mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
千葉県 (千葉市)	陶磁器質吹付(磁器質系) 80% 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 20%	角タイル(100mm角・色物) 2% 合成樹脂壁紙(上・無地) 92% ラワン合板(4.0mm厚) 6%	モルタル(金ごて仕上げ) 27% 塩化ビニルタイル(軟質タイル3mm厚) 2% 塩化ビニルタイル(軟質タイル2mm厚) 52% 畳(中) 15% ラワン合板(5.5mm厚) 4% (加算) 断熱材 16%	合成樹脂紙貼(上・無地) 94% 石膏ボード(普通板9mm厚) 6% (加算) 発泡合成樹脂(25mm厚) 44% 発泡合成樹脂(50mm厚) 6%	アスファルト防水(露出防水) 100%	(木製) フラッシュ戸(合成樹脂被覆合板・並) フラッシュ戸(しな合板) かまち戸(ラワン) ふすま(中) (鋼製) フラッシュ戸(粹見込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド式・粹見込70mm) サッシュ(固定式・粹見込70mm) 網戸(合成樹脂網) (ガラス) 普通板ガラス(透明3mm厚) 型板ガラス(4mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
東京都 (特別区)	小口・二丁掛タイル (色物) 40% コンクリート打放 (並) 60% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 60%	コンクリート打放 (並) 7% 小口・二丁掛タイル (白色) 4% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 85% ラワン合板 (4.0mm厚) 4% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (ビニル系) 7%	大理石(輸入石・並) 5% 花崗岩(輸入石・小 叩仕上げ) 3% 畳(中) 24% じゅうたん(中) 17% モルタル(金ごて仕 上げ) 7% フローリング(アビト ン15mm) 25% 軟質クッションフロ ア(並) 19%	ラワン合板 (4.0mm厚) 3% 単板張合板 8% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 79% 岩綿板(塗装吸音板 9mm厚) 3% コンクリート打放 (並) 7% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (ビニル系) 7%	シート防水(非遊歩 用合成樹脂系0.8mm 厚塩化ビニル系) 100%	(木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) ふすま(中) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込100mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込70mm) かまち戸(粹見込 70mm) (ステンレス) かまち戸(粹見込 100mm) (ガラス) 型板ガラス(2mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
神奈川県 (横浜市)	小口・二丁掛タイル (白色) 100% (加算) 断熱材 28%	角タイル(100mm角 ・白色) 2% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 89% ラワン合板 (4.0mm厚) 9%	モルタル(金ごて仕 上げ) 1% コンクリート直仕上 げ(金ごて仕上げ) 26% 畳(中) 14% ニードルパンチカー ペット(上) 21% 軟質クッションフロ ア(中) 28% ラワン合板 (5.5mm厚) 10%	石膏ボード(着色板・ 9mm厚) 14% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 46% ラワン合板 (4.0mm厚) 4% 仕上げなし 36% (加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 36%	アスファルト防水 (露出防水) 100% (加算) 断熱材 47%	(木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) フラッシュ戸(しな 合板) 板戸(ラワン合板) かまち戸(杉) ふすま(中) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) アングル戸(粹見込 85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
新潟県 (新潟市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)100%	ラワン合板 (4.0mm厚) 8% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 80% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 8% 仕上げなし 4%	ラワン合板 (5.5mm厚) 8% 畳(中) 38% モルタル(金ゴテ仕 上げ) 8% 塩化ビニルタイル 3% 軟質クッションフロ ア(中) 5% フローリング 35% 仕上げなし 4%	ラワン合板 (4.0mm厚) 8% 単板張合板 37% 合成樹脂紙貼(並・ 柄物) 43% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 8% 仕上げなし 4%	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系0.8mm 厚) 100%	(木製) サッシュ(スライド 式・枠見込90mm) 障子(腰付額なし) ふすま(並) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) (鋼製) サッシュ(スライド 式・枠見込85mm) フラッシュ戸(枠見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 普通板ガラス(透明 3mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
富山県 (富山市)	小口・二丁掛タイル (色物) 52% 陶磁器質吹付 (セメント系) 48%	合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 27% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 64% ラワン合板 (4.0mm厚) 仕上げなし 4%	畳(上) 27% 単板張合板(並) 59% ラワン合板 (5.5mm厚) 5% 着色コンクリート床 軟質クッションフロ ア(中) 2% 仕上げなし 5%	石膏ボード(着色板 9mm厚) 27% 石膏ボード(吸音板 9mm厚) 17% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 52% 仕上げなし 4%	塗膜防水(モルタル 保護層あり・エポキ シ系) 100%	(木製) ブラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) ふすま(並) 障子(腰付額なし) (鋼製) ブラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込100mm) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込70mm) アコーディオンドア (アルミ緑のもの) (ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 普通板ガラス(透明 3mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建物
石川県 (金沢市)	塗膜防水(モルタル 保護層なし・合成ゴ ム系) 6% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 1% アルミニウム板(上) 2% 石綿セメント板(フレ キシブル板6.3mm厚) 1% 小口・二丁掛タイル (白色) 1% 陶磁器質系吹付 (セメント系) 89% (加算) 断熱吸音材 90% 合成樹脂系ペイント (並) 2%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 60% モルタル(金ごて磨 き) 16% 角タイル(100mm角 ・白色) 1% 木材(ラワン) 1% ラワン合板 (4.0mm厚) 22% (加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 15% 油性ペイント 1%	畳(中) 36% フローリング(ぶな 15mm厚) 1% 軟質クッションフロ ア(中) 28% モザイクタイル(角型 ・色物) 2% ラワン合板 (5.5mm厚) 9% 角タイル(100mm角 ・白色) 1% モルタル(金ごて仕 上げ) 9% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 9% 床用コンクリートプロ ック(ベンチレーショ ンブロック) 1% 仕上げなし 4%	単板強合板 37% 岩綿板(塗装吸音板 9mm厚) 16% 石綿セメント板(普 通板6.3mm厚) 8% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 9% ラワン合板 (4.0mm厚) 9% 仕上げなし 21% (加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 3% 合成樹脂系ペイント (並) 5% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 17% 断熱吸音板 24%	塗膜防水(モルタル 保護層なし・合成ゴ ム系) 100%	(木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) かまち戸(ラワン) 障子(腰付額なし) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込60mm) サッシュ(固定式・ 粹見込60mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込60mm) フラッシュ戸(粹見 込70mm) かまち戸(粹見込 70mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
			(加算) 断熱吸音材 20%			(ガラス) 普通板ガラス(型板 ガラス・4mm厚) 磨き板ガラス(5~ 6mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚) 網戸(ステンレス網)
福井県 (福井市)	小口・二丁掛タイル (白色) 21% モルタル(はけ引き) 2% 陶磁器質状吹付 (エポキシ樹脂系) 77%	合成樹脂壁紙(並) 無地) 48% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 3% ラワン合板 (5.5mm厚) 7% 小口・二丁掛タイル (白色) 3% 陶磁器質状吹付 (エポキシ樹脂系) 5% 仕上げなし 7%	フローリング(なら・ 15mm厚) 23% 畳(中) 24% 軟質クッションフロ ア(中) 5% クリンカータイル (180mm角) 4% ラワン合板 (5.5mm厚) 6% じゅうたん(中) 10% コンクリート直仕上 げ(金ごて仕上げ) 2% リノリウム・リノタイル (2mm厚) 4%	合成樹脂紙貼(上・ 無地) 39% 木材(並) 24% ラワン合板 (4.0mm厚) 6% 岩綿板(遮音吸音板 ・9mm厚) 2% 樹脂入モルタル吹付 17% 現場調合モルタル吹 付 6% 仕上げなし 6%	アスファルト防水 (豆砂利押・粒が下 揃いのもの) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) かまち戸(ラワン) ふすま(並) 障子(腰付額なし) (鋼製) サッシュ(スライド 式・枠見込85mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込85mm) フラッシュ戸(枠見 込85mm) (アルミニウム) フラッシュ戸(枠見 込70mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
			モルタル(金ごて仕 上げ) 19% 仕上げなし 3%			イスターカーテン かまち戸(粹見込 70mm) (ガラス) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚)
山梨県 (甲府市)	コンクリート打放 (中) 100% (加算) 陶磁器質吹付 (磁器質系) 100%	合成樹脂壁紙(並 柄物) 86% ラワン合板 (4.0mm厚) 6% モルタル(金ごて 磨き) 1% 仕上げなし 7%	畳(中) 49% フローリングブロック (なら) 35% モルタル(金ごて仕 上げ) 3% ラワン合板 (5.5mm厚) 6% 仕上げなし 7%	合成樹脂紙貼(並 柄物) 7% コンクリート打放 (中) 80% ラワン合板 (4.0mm厚) 6% 仕上げなし 7%	アスファルト防水 (モルタル・目地切 ・6層) 100%	(木製) サッシュ(スライド 式・粹見込90mm) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) 障子(腰付額なし) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) フラッシュ戸(粹見 込70mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
長野県 (長野市)	コンクリート打放 (中) 1% 小口・二丁掛タイル (色物) 12% 合成樹脂系ベイント (並) 87%	角タイル(100mm角 ・色物) 4% ラワン合板 (4.0mm厚) 10% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 86% (加算) 断熱吸音材 100%	モルタル(金ごて仕 上げ) 9% 角タイル(100mm角 ・色物) 2% 畳(中) 13% じゅうたん(並) 50% ラワン合板 (6.0mm厚) 8% ラワン合板 (9.0mm厚) 3% 軟質クッションフロ ア(並) 12% 合成樹脂塗床(ポリ ウレタン) 3%	石膏ボード(着色板 9mm厚) 13% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 65% ラワン合板 (3.0mm厚) 5% 石綿セメント板(フ レキシブル板・普通 板4mm厚) 1% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 16% (加算) 断熱吸音材 100%	着色亜鉛鉄板(長尺 板平板葺0.40mm厚) 100%	サッシュ(すべり出 し・枠見込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚)
						(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) フラッシュ戸(枠見 込100mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込70mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
岐阜県 (岐阜市)	陶磁器質状吹付 (磁器質系) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 76% ラワン合板 (4mm厚) 13% 砂壁状合成樹脂吹付 (ビニル系) 3% 仕上げなし 8%	ニードルパンチカー ペット(並) 16% ラワン合板 (5.5mm厚) 5% 合成樹脂壁紙 31% 合成樹脂被覆合板 34% 軟質クッションフロ ア(並) 3% コンクリート直仕上 げ(金ごて仕上げ) 8% クリンカータイル (180mm角) 3%	軟質繊維板(塗装吸 音板・9mm厚) 16% ラワン合板 (4.0mm厚) 5% 木材(並) 31% 石符ボード(着色板 9mm厚) 32% 石符ボード(普通板 9mm厚) 8% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 3% 仕上げなし 5% (加算) 油性ペイント 8%	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系0.8 mm厚) 100%	(ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 普通板ガラス(透明 3mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) (木製) フラッシュ戸(しな 合板) (鋼製) サッシュ(固定式・ 枠見込85mm) フラッシュ戸(枠見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込70mm) かまち戸(枠見込 70mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
静岡県 (静岡市)	小口・二丁掛 25% 陶磁器 75% (セメント系) (加算) 打放(補修) 100%	合成樹脂壁紙(上・ 無地) 83% ラワン合板 (4.0mm厚) 5% 打放(補修) 7% 仕上げなし 5% (加算) 陶磁器 7% (セメント系) 断熱吸音材 79%	モルタル(金ごて仕 上げ) 7% 畳(中) 14% ラワン合板 (5.5mm厚) 5% カーペット(並) 58% クッションフロアー 11% 仕上げなし 5% (加算) 断熱吸音材 1%	ラワン合板 (4.0mm厚) 5% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 69% 打放(補修) 7% 単板張合板 14% 仕上げなし 5% (加算) 断熱吸音材 87%	アスファルト防水 (露出防水) 61% モルタル防水(エマ ルジョン系) 39%	(ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚) (木製) フラッシュ戸(しな 合板) かまち戸(ラワン) ふすま(中) 障子(腰付額なし) (鋼製) サッシュ(スライド 式・枠見込85mm) フラッシュ戸(枠見 込85mm) 雨戸 (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込60mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
愛知県 (名古屋市)	モルタル(はけ引き) 4% 小口・二丁掛タイル (色物) 54% 陶磁器質状吹付 (磁器質系) 42%	石綿セメント板(平 板6.3mm厚) 2% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 77% ラワン合板 (4mm厚) 19% 角タイル(100mm角 ・白色) 2% (加算) 断熱吸音材 18%	モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 15% コンクリート直仕上 げ(金ごて仕上げ) 1% クリンカータイル (150mm角) 6% 軟質クッションフロ ア(中) 44% 合成樹脂壁(普通厚 表・床厚30~35mm) 27% ラワン合板 (5.5mm厚) 7%	ラワン合板 (4mm厚) 2% 石膏ボード(吸音板 9mm厚) 18% 石膏ボード(着色板 9mm厚) 7% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 52% 砂壁状セメント系吹 付(厚付型セメント) (加算) 21% 断熱吸音材 21%	アスファルト防水 (露出防水) 83% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 17%	(ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 普通板ガラス(透明 3mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚)
						(木製) フラッシュ戸(しな 合板) かまち戸(ラワン) ふすま(並) (鋼製) アングル戸(粹見込 85mm) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(スライド 式・粹見込60mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
三重県 (津市)	コンクリート打放 (中) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 87%	合成樹脂畳(普通畳 表・床厚55mm) 33%	石膏ボード(吸音板 9mm厚) 47%	塗膜防水(モルタル 保護層あり・合成ゴ ム系) 100%	サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) サッシュ(固定式・ 枠見込60mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込60mm) 網戸(合成樹脂網) (フレームレストア等) アコーディオンドア (アルミ緑のもの) (ガラス) 普通板ガラス(透明 3mm厚) 普通板ガラス(型板 2mm厚) 普通板ガラス(型板 4mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚) (木製) フラッシュ戸(しな 合板)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	(加算) 陶磁器質吹付 (セメント系) 100%	ラワン合板 (5.5mm厚) 5% モルタル(はげ引き) 8% (加算) 砂壁状セメント系吹 付(厚付型セメント) 8%	軟質クッションフロ ア(中) 53% ラワン合板 (5.5mm厚) 4% フローリング(アピト ン・15mm厚) 3% モルタル(金ごて仕 上げ) 7%	半硬質繊維板(普通 板4.5mm厚) 34% 合成樹脂紙貼(並・ 柄物) 8% ラワン合板 (4.0mm厚) 4% コンクリート打放 (中) 7% (加算) 砂壁状セメント系吹 付(厚付型セメント) 7%		ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) フラッシュ戸(粹見 込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚)
滋賀県 (大津市)	小口・二丁掛タイル (色物) 21% 陶磁器質吹付 (磁器質系) 79%	角タイル(100mm角 ・色物) 8% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 85% ラワン合板 (4mm厚) 7%	モルタル(金ごて仕 上げ) 7% クリンカータイル (150mm角) 2% 合成樹脂壁紙 31% フローリング(アピト ン15mm厚) 51% ラワン合板 (5.5mm厚) 3%	ラワン合板 (4mm厚) 5% プリント合板 (4mm厚) 29% 石膏ボード(普通板 7mm厚) 6% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 50% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 10%	着色石綿セメント板 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込60mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
			軟質クッションフロア(中) 6% (加算) 特殊ペイント (防水塗料) 4%			サッシュ(固定式・ 枠見込60mm) かまち戸(枠見込 70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚)
京都府 (京都市)	小口・二丁掛タイル (色物) 9% 陶磁器質吹付 (セメント系) 91%	角タイル(100mm角 ・色物) 3% 小口・二丁掛タイル (色物) 1% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 93% ラワン合板 (4mm厚) 2% プリント合板 (5mm厚) 1% (加算) 断熱吸音材 39%	モルタル(金ごて仕 上げ) 17% 合成樹脂塗床(塩化 ビニル) 11% クリンカータイル (150mm角) 2% 合成樹脂畳(普通畳 表・床厚55mm) 23% ラワン合板 (5.5mm厚) 2% 軟質クッションフロ ア(中) 45%	プリント合板 26% 岩綿板(塗装吸音板 ・1.2mm厚) 1% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 51% ラワン合板 (4.0mm厚) 2% 合成樹脂系ペイント (並) 1% 砂壁状セメント系吹 付(厚付型セメント) 19%	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系0.8mm 厚) 11% シート防水(遊歩用 ・合成ゴム系2mm厚) 14% 着色石綿セメント板 (加算) 75% 断熱吸音材 64%	(木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) かまち戸(枠) ふすま(並) (鋼製) サッシュ(スライド 式・枠見込100mm) サッシュ(固定式・ 枠見込100mm) かまち戸(枠見込 100mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
						フラッシュ戸(枠見 込100mm) シャッター(重量タ イプシャッター) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 普通板ガラス(つや 消し3mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚)
大阪府 (大阪市)	コンクリート打放 (補修) 100% (加算) 陶磁器質状吹付 (磁器質系) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 柄物)(下地石膏ボ ード) 88% 角タイル(100mm角 ・色物) 1%	軟質クッションフロ ア(中) 14% 合成樹脂塗床(ポリ ウレタン) 14%	合成樹脂紙貼(並・ 柄物) 46% 合成樹脂紙貼(並・ 柄物)(下地コンク リート打放) 13%	アスファルト防水 (露出防水) 63% アスファルト防水 (モルタル目仕切・ 8層) 37%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並)

都道府県 (開播都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		ラワン合板 (9.0mm厚) 10% 小口・二丁掛タイル (白色) 1% (加算) 断熱吸音材 1%	ニードルパンチカー ベット(並) 2% 合成樹脂盤(直取) 19% パーティクルボード (15mm厚) 3% 角タイル(100mm角 ・色物) 1% コンクリート直仕上 げ(金ごて仕上げ) 1% モルタル防水 3% じゅうたん(並) 43% (加算) 断熱吸音材 29%	単板張合板 19% 岩綿板(塗装吸音板 ・19mm厚) 1% 石綿セメント板(普 通板・6.3mm厚)2% ラワン合板 (4.0mm厚) 2% コンクリート打放 (補修) 17% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 14% 合成樹脂系ペイント (並) 2% 断熱吸音材 1%		(鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) プレス戸 かまち戸(粹見込 85mm) ガラリ戸 サッシュ(固定式・ 粹見込85mm) ジャッター(軽量タ イプシャッター) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込70mm) フラッシュ戸(粹見 込70mm) ガラリ戸 (ガラス) 普通板ガラス(透明 5mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
兵庫県 (神戸市)	小口・二丁掛タイル (色物) 4% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 96%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 81% ラワン合板 (4mm厚) 14% 角タイル(100mm角 ・色物) 2% モルタル(金ごて磨 き) 2%	ニードルパンチカー ペット(上) 47% 合成樹脂(普通量 表・床厚30~35mm) 13% ラワン合板 (5.5mm厚) 12% 軟質クッションフロ ア(中) 10% 角タイル(100mm角 ・色物) 2% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 16%	合成樹脂紙貼(並・ 無地) 74% 石膏ボード(着色板 9mm厚) 9% 石綿セメント板(フ レキシブル板・吸音 板60mm厚) 10% ラワン合板 (40mm厚) 7% (加算) 合成樹脂系ペイント (並) 10%	アスファルトシング ル葺 100%	(木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) かまち戸(ラワン) ふすま(並) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込70mm) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) (ガラス) 型板ガラス(4mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
奈良県 (奈良市)	陶磁器質状吹付(セメント系) 100%	合成樹脂壁紙(並・無地) 78% 角タイル(100mm角・窯変) 2% 角タイル(100mm角・白色) 1% モルタル(金ごて磨き) 1% 合成樹脂板(塩化ビニル・2mm厚) 2% ラワン合板(4mm厚) 5% 合成樹脂系エマルジョンペイント 1% 繊維吹付(岩綿) 1% 陶磁器質状吹付(セメント系) 4% 仕上げなし 5%	リノリウム・リノタイル(3mm厚) 1% 半硬質タイル(2mm厚) 3% 合成樹脂層(普通厚・床厚5.5mm)20% ラワン合板(5.5mm厚) 5% じゅうたん(並) 45% 合成樹脂塗床(ポリウレタン) 1% モザイクタイル(角型・色物) 1% クリンカータイル(150mm角) 3% 軟質クッションフロア(中) 14% 仕上げなし 7%	岩綿板(塗装吸音板・19mm厚) 2% 岩綿板(塗装吸音板・12mm厚) 1% 石綿セメント板(フレキシブル板・普通板・5mm厚) 1% 石膏ボード(着色板9mm厚) 20% 石膏ボード(吸音板9mm厚) 1% 合成樹脂紙貼(並・無地) 58% ラワン合板(4.0mm厚) 5% 合成樹脂系エマルジョンペイント 2% 合成樹脂系ペイント(並) 1%	アスファルト防水(露出防水) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな合板) ふすま(並) (鋼製) サッシュ(固定式・枠見込100mm) サッシュ(スライド式・枠見込85mm) フラッシュ戸(枠見込85mm) アングル戸(枠見込85mm) かまち戸(枠見込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・枠見込70mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
				砂壁状セメント系吹付(化粧用セメント) 2% 繊維吹付(岩綿) 1% 陶磁器質状吹付(セメント系) 1% 仕上げなし 5%		サッシュ(すべり出し・枠見込70mm) (ガラスブロック等) ガラスブロック(透明) 145×145×95mm (ガラス) 普通板ガラス(透明) 5mm厚) 普通板ガラス(透明) 3mm厚) 普通板ガラス(つや消し5mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板) 6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き板6.8mm厚)
和歌山県 (和歌山市)	コンクリート打放 (中) 71% 小口・二丁掛タイル (色物) 6% モザイクタイル(角 ・色物) 18% 砂付ルーフィング 5%	角タイル(100mm角 ・色物) 6% 合成樹脂壁紙(並 柄物) 49% ラワン合板 (40mm厚) 10%	モルタル(金ゴテ) 5% クリンカータイル (150mm角) 1% 合成樹脂畳(普通畳 ・床厚30~35mm 厚) 35%	石膏ボード(着色板 9mm厚) 5% 合成樹脂紙貼(並 柄物) 57% プリント合板 (4mm厚) 35%	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系0.8mm 厚) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) 障子(腰付額なし) ふすま(中)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	(加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 71%	和風壁合板 (4mm厚) 35%	じゅうたん(並) 20% フローリング(なら ・15mm厚) 37% 軟質クッションフロ ア(中) 2%	ラワン合板 (4.0mm厚) 3%		(鋼製) アングル戸(粹見込 100mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込100mm) かまち戸(粹見込 70mm) (ガラス) 型板ガラス(2mm厚) 普通板ガラス(透明 5mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚)
鳥取県 (鳥取市)	モルタル(金ゴテ) 3% 陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系)97%	角タイル(100mm角 ・色物) 2% 石膏ボード(9mm厚) 18% 合成樹脂壁紙(並 柄物) 69% 陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系)11%	モルタル(金ゴテ) 12% リノリウム・リノタイル (2mm厚) 3% 畳(中) 33% ラワン合板 (5.5mm厚) 16% 単板強合板(並) 23%	ラワン合板 (4.0mm厚) 7% 石膏ボード(着色板 9mm厚) 38% 石綿セメント板(普 通板6.3mm厚) 1% 石綿セメント板(吸 音板4mm厚) 24% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 30%	シート防水(非遊歩 用・合成樹脂系0.8 mm厚・塩化ビニル系) 87% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 13%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(中) ふすま(並) 障子(腰付額なし) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
島根県 (松江市)	陶磁器質吹付(磁器質系) 100%	角タイル(100mm角・白色) 8% 石膏ボード(9mm厚) 15% 合成樹脂壁紙(並無地) 70%	クリンカータイル(180mm角) 2% モザイクパーケット(ぶな) 20% 軟質クッションフロア(中) 19% フローリング(なら) 15mm厚) 2% 畳(中) 24%	モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 13% 合成樹脂系ペイント 1%	アスファルト防水(露出防水) 100%	(アルミニウム) サッシュ(スライド式・枠見込60mm) サッシュ(すべり出し・枠見込60mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明3mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 型板ガラス(2mm厚) 網入板ガラス(型板6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き板6.8mm厚)
	陶磁器質吹付(磁器質系) 100%	角タイル(100mm角・白色) 8% 石膏ボード(9mm厚) 15% 合成樹脂壁紙(並無地) 70%	クリンカータイル(180mm角) 2% モザイクパーケット(ぶな) 20% 軟質クッションフロア(中) 19% フローリング(なら) 15mm厚) 2% 畳(中) 24%	合成樹脂系ペイント 1%	アスファルト防水(露出防水) 100%	(木製) フラッシュ戸(合成樹脂被覆合板・並) サッシュ(スライド式・枠見込90mm) ふすま(並) 障子(腰付額なし) (鋼製) フラッシュ戸(枠見込85mm)

外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具		
岡山県 (岡山市)	小口・二丁掛 （色物） 54% 陶磁器質状吹付（磁器質系） 56%	合成樹脂壁紙（並無地） 85% ラワン合板（4.0mm厚） 7% 砂壁状合成樹脂吹付（ビニル系） 5% 仕上げなし 3%	畳（中） 24% 軟質クッションフロア（中） 29% ニードルパンチカーペット（並） 26% ラワン合板（5.5mm厚） 7% モルタル（金ゴテ仕上げ） 11% 仕上げなし 3%	縁甲板（ラワン） 1% 透膜防水（モルタル保護層あり・合成ゴム系） 23%	合成樹脂紙貼（並無地） 85% ラワン合板（4.0mm厚） 7% 砂壁状セメント系吹付（ひる石系） 5% 仕上げなし 3%	アスファルト防水（露出防水） 100%	（アルミニウム） サッシュ（スライド式・碎見込60mm） サッシュ（固定式・碎見込60mm） ドアチェック
					（木製） フラッシュ戸（合成樹脂被覆合板・並） ふすま（並） 障子（腰付額なし） （鋼製） フラッシュ戸（碎見込85mm） （アルミニウム） サッシュ（スライド式・碎見込70mm） サッシュ（すべり出し・碎見込70mm） サッシュ（固定式・碎見込70mm） （ステンレス） かまち戸（碎見込100mm）		

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
広島県 (広島市)	小口・二丁掛タイル (色物) 66% 陶磁器質状吹付(セ メント系) 34%	角タイル(100mm角 ・色物) 3% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 77% 押入合板 10% 陶磁器質状吹付(セ メント系) 10%	クリンカータイル (180mm角) 2% フローリング(なら・ 15mm厚) 17% 畳(中) 28% 押入合板 4% 軟質クッションフロ ア(並) 25% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 18% 仕上げなし 6%	合成樹脂紙貼(並・ 無地) 45% 単板強合板 27% 押入合板 4% 陶磁器質状吹付(セ メント系) 18% 仕上げなし 6%	勾配屋根・着色石綿 セメント板 100%	(ガラス) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚) 熱線吸収ガラス(網 入磨き板5.0~6.8mm 厚) (木製) かまち戸(ラワン) 板戸(ラワン合板) 障子(猫間ガラス共) ふすま(並) 戸ぶすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) アングル戸(粹見込 85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
山口県 (山口市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 100%	石膏ボード (9mm厚) 59% ラワン合板 (5.5mm厚) 22% 角タイル(100mm角 ・色物) 4% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・2mm厚) 14% モルタル(金ごて磨 き) 1%	壁(中) 42% ラワン合板 (5.5mm厚) 10% 単板張合板(並) 39% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・2mm厚) 4% 軟質クッションフロ ア(中) 3% モルタル(金ごて仕 上げ) 2%	石膏ボード(着色板 ・9mm厚) 14% コンクリート打放 (並) 9% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・並) 5% 合成樹脂被覆合板 (並・4mm厚) 3% 樹脂入モルタル吹付 69%	アスファルト防水 (露出防水) 100% (加算) 断熱材 100%	(木製) サッシュ(スライド 式・枠見込90mm) サッシュ(固定式・ 枠見込90mm) フラッシュ戸(しな 合板) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) ふすま(並)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		(加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 59%				(鋼製) サッシュ(スライド 式・枠見込100mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(スライド 式・枠見込60mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込60mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・2mm厚) 型板ガラス(2mm厚)
徳島県 (徳島市)	陶磁器管状吹付(セ メント系) 100%	角タイル(100mm角 ・色物) 17% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 65% ラワン合板 (4.0mm厚) 13% モルタル(はけ引き) 5%	モルタル(金ゴテ仕 上げ) 9% モザイクタイル(丸 型・色物) 4% 畳(上) 32% ラワン合板 (5.5mm厚) 6% 軟質クッションフロ ア(中) 48% 仕上げなし 1%	木材(中) 32% 石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 30% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 18% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・並) 4% ラワン合板 (4.0mm厚) 6%	シート防水(非遊歩 用・合成樹脂系0.8 mm厚・塩化ビニル系) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(中) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		(加算) 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 5%		砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 9% 仕上げなし 1%		(アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込60mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込60mm) かまち戸(枠見込 70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 型板ガラス(4mm厚)
香川 県 (高松市)	小口・二丁掛タイル (色物) 3% 打放補修 97% (加算) 陶磁器質吹付(磁 器質系) 97%	合成樹脂壁紙(下地 打放補修) 25% 合成樹脂壁紙(下地 石膏ボード9mm厚) 58% 角タイル(100mm角 ・色物) 2% ラワン合板 (4.0mm厚) 15% (加算) 断熱材 27%	モルタル(金ゴテ仕 上げ) 8% 角タイル(100mm角 ・色物) 5% 軟質クッションフロ ア(中) 47% 軟質クッションフロ ア(並) 8% 合成樹脂畳(普通畳 表・床厚55mm) 11% ラワン合板 (5.5mm厚) 10%	打放補修 26% 合成樹脂紙貼(並・ 無地) 57% 単板張合板 11% ラワン合板 (4.0mm厚) 6% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 26%	シート防水(非遊歩 用・合成樹脂系0.8 mm厚・塩化ビニル系) 100% (加算) 防水塗料	(木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) アングル戸(枠見込 85mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
			ニードルパンチカー ベット(並) 3% コンクリート直上 げ(金ゴテ仕上げ) 8%			(アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込60mm) かまち戸(枠見込 70mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込60mm) サッシュ(固定式・ 枠見込60mm) 網戸(合成樹脂網) (ガラス) 熱線吸収ガラス(フ ロート3mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚) 普通板ガラス(つや 消し2mm厚)
愛媛県 (松山市)	コンクリート打放 (並) 90% 小口・二丁掛タイル (色物) 10%	合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 81% ラワン合板 (4.0mm厚) 12%	畳(中) 44% モザイクパーケット (なら) 46%	合成樹脂紙貼(並・ 柄物) 51% 石膏ボード(着色板 ・9mm厚) 44%	シート防水(遊歩用 ・合成樹脂系0.8mm 厚・塩化ビニル系) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) かまち戸(ラワン)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	(加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 90%	角タイル(100mm角 ・色物) 5% 陶磁器質状吹付(エ ポキシ樹脂系) 2%	軟質クッションフロ ア(並) 4% 角タイル(100mm角 ・色物) 2% モルタル(金ごて仕 上げ) 2% ラワン合板 (5.5mm厚) 2%	ラワン合板 (4.0mm厚) 2% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・並) 1% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 2%		障子(腰付額なし) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込85mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込85mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚) 型板ガラス(2mm厚) 型板ガラス(4mm厚)
高知県 (高知市)	モルタル(はけ引き) 100% (加算) 陶磁器質状吹付(エ ポキシ樹脂系) 100%	角タイル(100mm角 ・色物) 6% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 51% ラワン合板 (5.5mm厚) 21% モルタル(はけ引き) 22%	フローリング(桜・ 18mm厚) 59% 畳(中) 12% ラワン合板 (9.0mm厚) 12% モザイクタイル(角 型・色物) 3% 軟質クッションフロ ア(上) 5%	単板張合板 12% ラワン合板 (5.5mm厚) 12% モルタル(はけ引き) 4% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・上) 3% 石膏ボード(普通板 ・7mm厚) 69%	着色石綿セメント板 100% (加算) 断熱材 100%	(木製) サッシュ(スライド 式・粹見込90mm) フラッシュ戸(しな 合板) 板戸(ラワン) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		(加算) 陶磁器質状吹付(エ ポキシ樹脂系) 4% 色セメント吹付 18%	塩化ビニルタイル (ビュアタイル・3 mm厚) 4% モルタル(金ゴテ仕 上げ) 5%	(加算) 陶磁器質状吹付(エ ポキシ樹脂系) 4% 油性ベイント 69%		(アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込60mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込60mm) (ガラス) 型板ガラス(4mm厚) 型板ガラス(2mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚) 磨き板ガラス(5~ 6mm厚)
福岡県 (福岡市)	小口・二丁掛タイル (白色) 12% 陶磁器質状吹付(磁 器質系) 88%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 72% 角タイル(100mm角 ・白色) 3% ラワン合板 (4.0mm厚) 15% 仕上げなし 10%	昼(中) 27% 単板強合板(並) 30% 軟質クッションフロ ア(並) 6% ラワン合板 (5.5mm厚) 5% クリンカータイル (150mm角) 1%	合成樹脂紙貼(並・ 無地) 38% 石葺ボード(着色板 ・9mm厚) 6% 石葺ボード(吸音板 ・9mm厚) 8% ラワン合板 (4mm厚) 16% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 29%	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系0.8 mm厚) 100%	(木製) サッシュ(スライド 式・枠見込90mm) ふすま(並) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) (鋼製) アングル戸(枠見込 85mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
			モルタル(金ごて仕 上げ) 1% 緑甲板(ラワン) 1% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 24% 仕上げなし 5%	仕上げなし (加算) 発泡合成樹脂 19%		フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込60mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込60mm) 網戸(合成樹脂網) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 型板ガラス(2mm厚)
佐賀県 (佐賀市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 85% ラワン合板 (40mm厚) 13% 角タイル(100mm角 ・色物) 2%	畳(中) 48% フローリング(アビ トン・15mm厚) 21% 塩ビシート 6% ラワン合板 (5.5mm厚) 8% モルタル(金ゴテ仕 上げ) 17%	石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 38% 石膏ボード(普通板 ・9mm厚) 6% 石膏ボード(着色板 ・9mm厚) 48% ラワン合板 (40mm厚) 8% (加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 6%	シート防水(非遊歩 用・合成樹脂系0.8 mm厚・塩化ビニル系) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) 障子(腰付額入ガラ ス共) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
長崎県 (長崎市)	モルタル(はけ引き) 100% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)100%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 53% 石綿セメント板(フ レキシブル板・4.0 mm厚) 27% ラワン合板 (4.0mm厚) 7% 角タイル(100mm角 ・白色) 2% モルタル(はけ引き) 3% 仕上げなし 8%	クリンカータイル (180mm角) 3% 軟質クッションフロ ア(中) 3% ラワン合板 (5.5mm厚) 7% 畳(中) 31% 単板強合板(並) 44% 着色コンクリート床 3% 仕上げなし 9%	石綿セメント板(フ レキシブル板・普通 板・5mm厚) 50% 石膏ボード(着色板 ・9mm厚) 31% ラワン合板 (4.0mm厚) 7% 石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 3% 木毛セメント板 (10mm厚) 4% 仕上げなし 5%	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系0.8 mm厚) 100%	(アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) フラッシュ戸(枠見 込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
熊本市	陶磁器質状吹付(エ ポキシ系) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 86% 小口・二丁掛タイル (白色) 1% 石膏ボード (9mm厚) 13%	角タイル(100mm角 ・色物) 7% コンクリート直仕上 げ(金ゴテ仕上げ) 16% フロ어링(なら 15mm厚) 57% 畳(中) 12%	合成樹脂紙貼(上・ 無地) 58% 石膏ボード(普通板 ・9mm厚) 5% フレキシブル板(普通 板・4mm厚) 2% プリント合板(3mm 厚) 15%	セメント瓦 100%	(木製) 板戸(ラワン合板) かまち戸(ラワン) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) 障子(腰付額なし)
熊本市	陶磁器質状吹付(エ ポキシ系) 100%	(加算) 陶磁器質状吹付(エ ポキシ樹脂系) 3%				サッシュ(すべり出 し・枠見込70mm) フラッシュ戸(枠見 込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 普通板ガラス(つや 消し・6mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		(加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 13%	ラワン合板 (5.5mm厚) 5% 軟質クッションフロ ア(中) 3%	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 20% (加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 5% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 2%		(鋳製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) かまち戸(粹見込 70mm) (ガラス) 型板ガラス(4mm厚) 磨き板ガラス(5~ 6mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚)
大分県 (大分市)	小口・二丁掛タイ (色物) 65% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 35%	プリント合板(3mm 厚) 11% ラワン合板 (4.0mm厚) 21% 角タイル(100mm角 ・白色) 3%	モルタル(金ゴテ仕 上げ) 8% 角タイル(100mm角 ・色物) 2% じゅうたん(中) 24%	ラワン合板 (4.0mm厚) 8% 石綿セメント板(フ レキシブル板・普通 板・4mm厚) 2%	アスファルト防水 (露出防水) 70% アスファルト防水 (モルタル目仕切り) 30%	(木製) サッシュ(スライド 式・粹見込90mm) ふすま(並) 障子(腰付額なし)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
宮崎県 (宮崎市)	陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 61% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 4%	ラワン合板 (5.5mm厚) 8% 単板張合板(並) 4% 軟質クッションフロ ア(中) 23% 軟質クッションフロ ア(並) 5% 合成樹脂畳(普通畳 表・床厚55mm) 26%	合成樹脂紙貼(並・ 無地) 57% 木材(中) 26%		(鋼製) サッシュ(スライド 式・枠見込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) 網戸(合成樹脂網)
宮崎県 (宮崎市)	陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系) 100%	角タイル(100mm角 ・白色) 5% プリント合板 (3mm厚) 15% ラワン合板 (4.0mm厚) 20% 石綿セメント板(平 板6.3mm厚) 17% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 35% 仕上げなし 8%	畳(中) 57% 単板張合板(並) 29% ラワン合板 (5.5mm厚) 10% 仕上げなし 4%	ラワン合板 (4.0mm厚) 10% 石膏ボード(着色板 ・9mm厚) 29% 単板張合板 57% 仕上げなし 4%	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系0.8 mm厚) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込60mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚)

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
鹿児島県 (鹿児島市)	<p>モルタル(はけ引き) 79%</p> <p>モルタル(木ゴテ磨き) 21%</p> <p>(加算)</p> <p>砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 79%</p>	<p>モルタル(金ゴテ磨き) 32%</p> <p>角タイル(75mm角・色物) 8%</p> <p>モルタル(はけ引き) 10%</p> <p>合成樹脂紙貼(並・無地) 50%</p> <p>(加算)</p> <p>砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 10%</p>	<p>モルタル防水(エマールジョン系) 25%</p> <p>モザイクタイル(角型・色物) 3%</p> <p>畳(中) 40%</p> <p>単板張合板(並) 19%</p> <p>ラワン合板(5.5mm角) 7%</p> <p>軟質クッションフロア(中) 6%</p>	<p>モルタル(はけ引き) 33%</p> <p>プリント合板(5mm厚) 59%</p> <p>ラワン合板(4.0mm厚) 7%</p> <p>仕上げなし(加算)</p> <p>砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 33%</p>	<p>モルタル防水(エマールジョン系) 100%</p>	<p>型板ガラス(4mm厚)</p> <p>普通板ガラス(つや消し・3mm厚)</p> <p>網入板ガラス(型板・6.8mm厚)</p> <p>(木製)</p> <p>フラッシュ戸(合成樹脂被覆合板・並)</p> <p>ふすま(並)</p> <p>(鋼製)</p> <p>フラッシュ戸(粹見込85mm)</p> <p>(アルミニウム)</p> <p>サッシュ(スライド式・粹見込70mm)</p> <p>サッシュ(すべり出し・粹見込70mm)</p> <p>フラッシュ戸(粹見込70mm)</p> <p>(ガラス)</p> <p>熱線吸収ガラス(フロート・5~6mm厚)</p> <p>普通板ガラス(つや消し・5mm厚)</p>

都道府県 (調査都市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
沖縄県 (那覇市)	コンクリート打放 (並) 100%	角タイル(100mm角 ・色物) 10% ラワン合板 (4.0mm厚) 18% ラワン合板 (5.5mm厚) 46% 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 26%	コンクリート直仕上 げ(金ゴテ仕上げ) 4% モザイクタイル(角 型・色物) 7% 合成樹脂盤(普通盤 表・床厚55mm) 37% フローリング(なら 18mm厚) 43% ラワン合板 (5.5mm厚) 7% 仕上げなし 2%	石綿セメント板(フ レキシブル板・普通 板・5mm厚) 7% ラワン合板 (4.0mm厚) 7% 仕上げなし 6% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 80%	コンクリート直仕上 げ 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込100mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込70mm) フラッシュ戸(粹見 込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚)

Ⅳ 参考資料

1 主要建築資材の卸売物価指数

品 目	昭和 60 年 1 月 (A)	昭和 61 年 1 月 (B)	昭和 62 年 1 月 (C)	(B)/(A)	(C)/(A)
丸太類	104.4	101.8	99.2	0.98	0.95
じゅうたん	91.8	104.0	99.6	1.13	1.08
タフテットカーペット	98.8	98.9	98.9	1.00	1.00
角材	100.1	100.2	105.2	1.00	1.05
ひき割り材	101.1	99.9	98.6	0.98	0.98
板材	102.4	98.9	102.0	0.97	1.00
普通合板	102.6	99.6	106.4	0.97	1.04
特殊合板	100.4	99.2	99.2	0.99	0.99
フローリングボード	99.7	100.4	99.1	1.01	0.99
合板フロア	100.0	100.0	100.8	1.00	1.01
パーティクルボード	100.0	100.0	103.3	1.00	1.03
ファイバーボード	99.8	99.8	98.8	1.00	0.99
木製ドア	99.8	102.4	102.4	1.03	1.03
ガラス戸	100.0	100.0	100.0	1.00	1.00
障子	99.6	104.6	104.6	1.05	1.05
ふすま	99.9	101.4	101.4	1.02	1.02
アスファルト塗工紙	101.1	99.1	93.7	0.98	0.93
軽量形鋼板	103.3	96.0	85.8	0.93	0.83
小型棒鋼	105.6	89.0	61.7	0.84	0.58
亜鉛鉄板	100.0	100.0	99.0	1.00	0.99
亜鉛系表面処理鋼板	100.1	98.4	91.9	0.98	0.92
ステンレス鋼板	103.4	96.4	88.3	0.93	0.85
鋼板	99.6	92.0	79.9	0.92	0.80
アルミニウム合板	100.8	91.9	80.7	0.91	0.80
アルミニウム合金板	101.8	93.2	77.9	0.92	0.77
アルミニウムサッシュ	99.2	100.4	95.4	1.01	0.96
スチールサッシュ	100.0	100.0	100.0	1.00	1.00
アルミニウムドア	100.0	100.0	97.5	1.00	0.98
スチールドア	92.8	107.2	109.4	1.16	1.18
スチールタ	99.5	101.1	101.1	1.02	1.02
建具用取付具	99.4	100.2	98.3	1.01	0.99
ボルト	100.8	98.7	91.7	0.98	0.91
金網	101.9	97.7	90.7	0.96	0.89
プラスチック板	100.2	99.6	98.3	0.98	0.98
プラスチックシート	100.2	99.6	99.0	0.99	0.99
プラスチック化粧板	100.0	100.0	99.0	1.00	0.99
プラスチック化粧板	100.0	100.0	95.5	1.00	0.96
プラスチックタイル	100.0	100.0	99.6	1.00	1.00
プラスチック発泡製品	100.0	100.0	89.3	1.00	0.89
油性塗料	98.7	100.2	100.2	1.02	1.02
ラッカー	98.2	100.2	100.2	1.02	1.02
合成樹脂塗料	98.2	99.5	98.1	1.01	1.00
合成樹脂塗料	100.3	98.5	79.8	0.98	0.80
アスファルト	100.0	100.0	71.8	1.00	0.72
普通ガラス	100.0	99.7	97.1	1.00	0.97
型ガラス	100.0	100.0	96.9	1.00	0.97
ガラス短繊維製品	100.0	100.0	97.6	1.00	0.98
セメント	107.4	99.9	99.3	0.93	0.92
生コン	105.9	98.4	106.6	0.93	1.01
石棉セメント板	100.0	100.0	91.4	1.00	0.91
波形石棉スレート	100.0	100.0	95.3	1.00	0.95
セメントかわら	99.3	101.0	99.6	1.02	1.00
軽気泡コンクリート	100.0	100.0	99.4	1.00	0.99
粘土がわ	98.7	100.4	97.6	1.02	0.99
衛生陶器	100.0	100.0	101.9	1.00	1.02
タイル	100.0	100.0	95.9	1.00	0.96
石膏ボード	99.8	100.0	98.5	1.00	1.00
石割り	100.4	99.8	100.4	0.99	1.00
砂	100.8	99.5	99.5	0.99	0.99
登壇	105.0	96.9	96.9	0.92	0.92
床	100.6	108.4	119.1	1.08	1.18

「昭和 62 年基準卸売物価指数」(日本銀行調、昭和 60 年平均=100)

2 R C造居住専用建物の工事費予定額等

項目 県名	棟数 (A)	床面積合計 (B) (㎡)	工事費予定額 (C) (万円)	1.0㎡当たり 工事費単価 (C/B)(円)	一棟当たり 延べ床面積 (B/A)(㎡)
北海道	1,299	1,137,775	13,669,245	120,410	875.89
青森	74	83,374	1,082,557	129,843	1,126.68
岩手	62	44,773	556,192	124,225	722.15
宮城	384	270,567	3,610,838	133,454	704.60
秋田	39	30,087	378,081	125,663	771.46
山形	192	69,253	805,948	116,377	360.69
福島	222	141,503	1,759,621	124,352	637.40
茨城	383	174,393	2,517,951	144,384	455.33
栃木	205	106,210	1,400,758	131,886	518.10
群馬	249	169,074	2,092,799	123,780	679.01
埼玉	1,490	1,443,725	23,589,000	163,390	968.94
千葉	1,283	1,185,877	19,389,879	163,507	924.30
東京	6,503	3,857,423	77,879,898	201,896	593.18
神奈川	971	732,835	14,126,163	192,760	754.72
新潟	258	108,498	1,564,376	144,185	420.53
富山	235	93,737	1,244,402	132,755	398.88
石川	196	119,027	1,690,462	142,023	607.28
福井	203	109,187	1,376,607	126,078	537.87
山梨	145	128,668	1,860,774	144,618	887.37
長野	368	144,350	2,180,777	151,076	392.26
岐阜	363	165,328	2,156,548	130,441	455.45
静岡	1,098	628,651	9,080,834	144,450	572.54
愛知	2,830	1,670,507	21,231,714	127,097	590.29
三重	372	143,424	1,875,546	130,769	385.55
滋賀	225	112,815	1,457,095	129,158	501.40
京都	795	532,919	7,695,970	144,412	670.34
大阪	2,308	1,851,006	26,638,877	143,916	802.00
兵庫	2,346	1,461,424	20,142,471	137,828	622.94
奈良	499	249,147	3,141,010	126,071	499.29
和歌山	355	142,655	1,823,499	127,826	401.85
鳥取	85	25,653	306,067	119,310	301.80
島根	121	54,255	678,062	124,977	448.39
岡山	312	144,959	1,927,404	132,962	464.61
広島	1,214	520,510	6,987,698	134,247	428.76
山口	792	236,700	2,973,401	125,619	298.86
徳島	319	140,831	1,664,052	118,159	441.48
香川	352	162,230	2,001,903	123,399	460.88
愛媛	636	286,827	3,212,937	112,017	450.99
高知	307	124,611	1,527,781	122,604	405.90
福岡	1,868	1,383,361	16,323,788	118,001	740.56
佐賀	94	63,117	754,504	119,541	671.46
長崎	497	194,766	2,427,819	124,653	391.88
熊本	410	227,978	2,562,417	112,398	556.04
大宮	358	163,904	1,665,205	101,596	457.83
分岐	304	123,273	1,340,807	108,767	405.50
鹿児島	1,118	329,347	3,745,542	113,726	294.59
沖縄	5,981	1,056,325	13,191,859	124,884	176.61
全国計	40,720	22,546,859	331,311,138	146,943	553.70

(昭和63年度版 建築統計年報 建設省建設経済局)



